

2. 新しい水質指標

2. 1 新しい水質指標(河川)

(1)新しい水質指標(河川)とは

新しい水質指標(河川)とは、人と河川のふれあいや生態系への関心など、多様な視点で河川が捉えられるようになってきている現在の状況を鑑み、河川をBODだけでなく多様な視点で評価できるように検討された指標である。評価の視点は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の4つにわたり、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」以外の視点について評価項目と評価レベルが設定されている^{注21}。また、4つの視点のうち「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査の一部は住民と河川管理者との協働により実施している。

新しい水質指標(河川)は、平成17年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」(国土交通省河川局河川環境課)^{注22}としてとりまとめられ、これに基づく調査が、平成17年4月よりほぼ全ての一級水系の直轄区間を対象に実施されている。

^{注21} 一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域への影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目や評価レベルは定めず、今後の課題としている。

^{注22} 平成21年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を一部改訂し、平成21年度の調査より適用している。

http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/suishitsukanri/shihyou.pdf

(2) 実施水系・地点数

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の平成24年の調査実施状況を表-25に示す。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査を実施した水系のうち、ほとんどの水系で住民との協働調査を実施している。住民との協働調査を実施している調査地点数は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では216地点(全国305地点)、「豊かな生態系の確保」では198地点(全国270地点)である。

「利用しやすい水質の確保」では、該当する地点に限られるため^{注23}、水系数・地点数ともに「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」よりも少ないが、全国146地点で実施された。

表-25 調査を実施した水系数と地点数

地方名	水系数	人と河川の豊かなふれあいの確保		豊かな生態系の確保		利用しやすい水質の確保	
		水系数	地点数	水系数	地点数	水系数	地点数
北海道	13	13 (12)	29 (17)	13 (12)	24 (17)	6	12
東北	12	7 (6)	20 (19)	8 (7)	22 (21)	6	11
関東	8	8 (5)	53 (18)	8 (5)	40 (17)	5	34
北陸	12	10 (3)	14 (3)	8 (3)	13 (3)	3	6
中部	13	12 (12)	50 (44)	12 (12)	46 (44)	7	11
近畿	10	8 (8)	24 (23)	8 (8)	25 (23)	4	24
中国	13	12 (12)	45 (39)	11 (11)	30 (24)	10	29
四国	8	5 (5)	15 (14)	4 (4)	19 (14)	2	3
九州	20	19 (17)	55 (39)	19 (17)	51 (35)	12	16
計	109	94 (80)	305 (216)	91 (79)	270 (198)	55	146

※()内は、住民と協働して調査を実施した水系数と地点数

^{注23} 「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としている。

(3) 住民参加人数

住民との協働による測定を実施する「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査では6,994人、「豊かな生態系の確保」の視点による調査では6,922人の住民に参加いただいた。どの地方でも子供(15歳以下)の割合が多かった(図-28)。

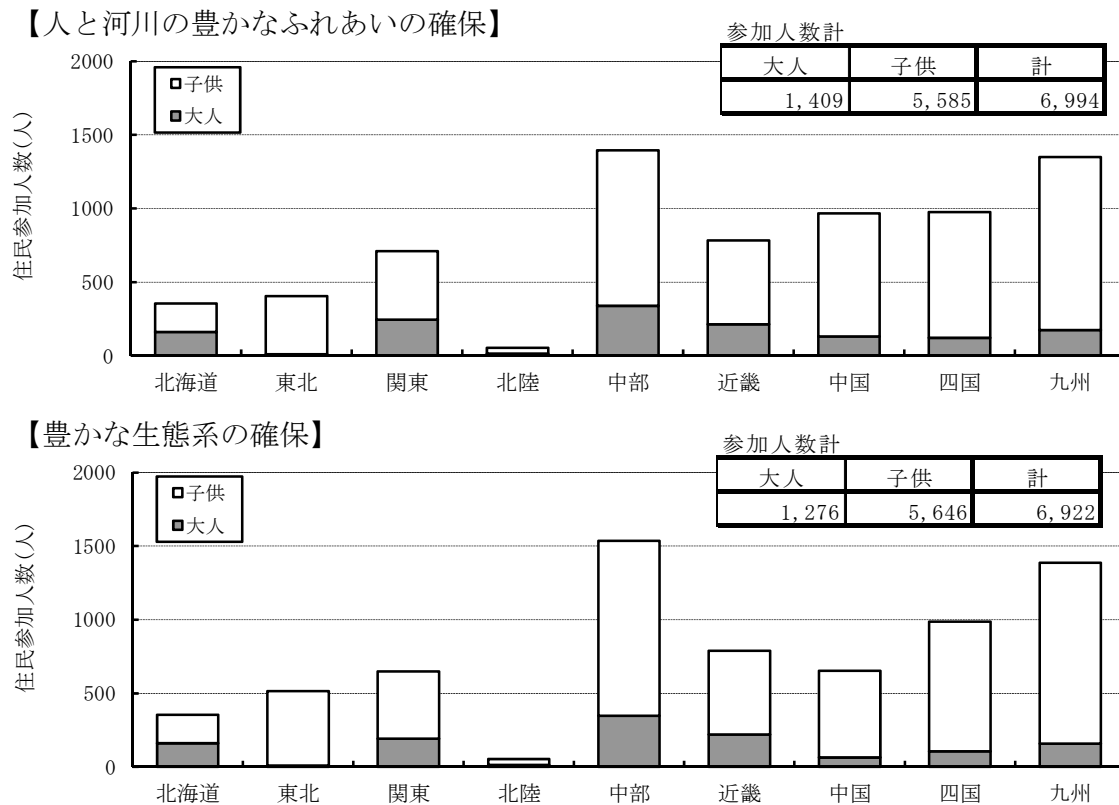


図-28 調査に参加した住民の人数(延べ人数)^{注24}

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査にあたって住民参加が多かった地点は、下表のとおりである。

表-26 住民参加人数が特に多かった調査地点

ランク	都道府県	河川名(水系名)/調査地点名	参加人数
1	大分県	乙津川(大野川水系)/水辺の楽校	372
2	山口県	佐波川(佐波川水系)/新橋	241
3	愛媛県	石手川(重信川水系)/市坪	193
4	東京都、埼玉県	荒川(荒川水系)/新荒川大橋	161
5	三重県	雲出川(雲出川水系)/小戸木橋	158

※表中の参加人数は、年間通した延べ人数。

年間に複数回の調査を実施した調査地点がある。

^{注24} 例えば、1人が2つの地点を調査した場合は、2人として集計している。

(4) 調査結果

①新しい水質指標(河川)(案)による全国の調査地点の総合評価結果

平成24年に実施した新しい水質指標による調査結果を基に、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の3つの視点ごとに、全国の調査地点の総合的な評価^(*)を行い、年間の総合評価ランクを全国マップ(図-29(1)～図-29(3))に示した。

年間の総合評価ランクが最も高いAランク(青丸)の地点は、表-27に示すように、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約25%(76地点/305地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約60%(162地点/270地点)、「利用しやすい水質の確保」の視点については約62%(91地点/146地点)となった。

一方、年間の総合評価ランクが最も低いDランク(赤丸)の地点は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約5%(16地点/305地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約4%(11地点/270地点)となった。また、「利用しやすい水質の確保」では評価ランクが最も低いCランク(黄色丸)の地点は、約12%(18地点/146地点)となった。

個別の地点の総合評価結果は、表-28(1)～表-28(6)に示すとおりである。

*評価項目ごとにA～Dランクの4段階(「利用しやすい水質の確保」はA～Cランクの3段階)の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとした。次に、1年間の調査時の総合評価ランクのうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では最頻ランク、「豊かな生態系の確保」では最低ランク、「利用しやすい水質の確保」では95%値に該当するランクを、その地点の年間の総合評価ランクとした。評価方法の詳細は「今後の河川水質管理の指標について(案)」参照。

表-27 新しい水質指標(河川)による年間の総合評価ランク別の地点数

	人と河川の 豊かなふれあい		豊かな生態系		利用しやすい水質			
	地点数	割合	地点数	割合	地点数	割合		
Aランク	76	(55)	25%	162	(125)	60%	91	62%
Bランク	134	(104)	44%	86	(62)	32%	37	25%
Cランク	79	(48)	26%	11	(6)	4%	18	12%
Dランク	16	(9)	5%	11	(5)	4%		
計	305	(216)	100%	270	(198)	100%	146	100%

※ () 内は、住民と協働で調査した地点数。

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

平成24年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果

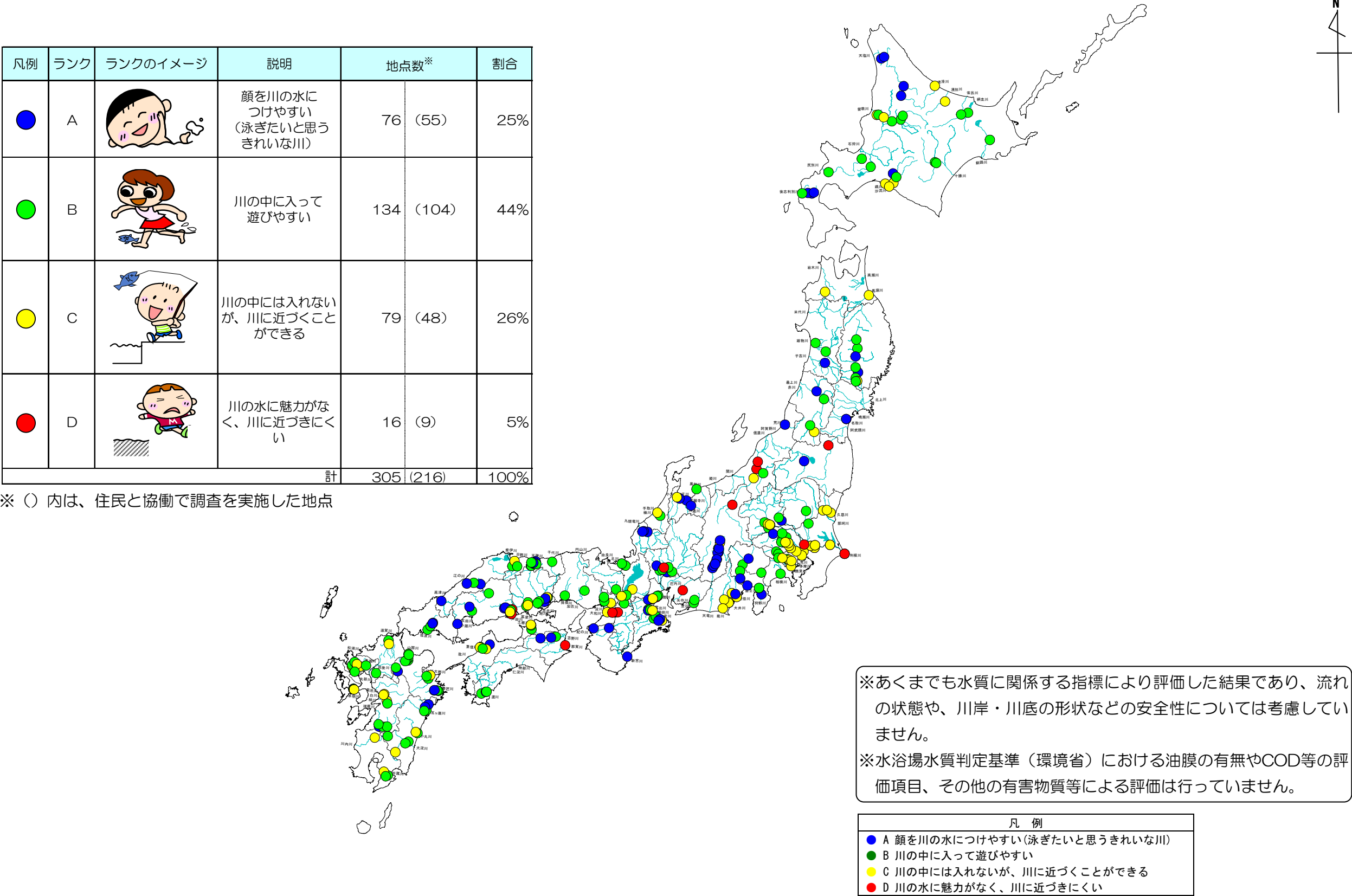


図-29(1) 平成24年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果

平成24年「豊かな生態系の確保」調査結果

凡例	ランク	説明	地点数※		割合
	A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	162	(125)	60%
	B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	86	(62)	32%
	C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	11	(6)	4%
	D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	11	(5)	4%
計			270	(198)	100%

※（ ）内は、住民と協働で調査を実施した地点

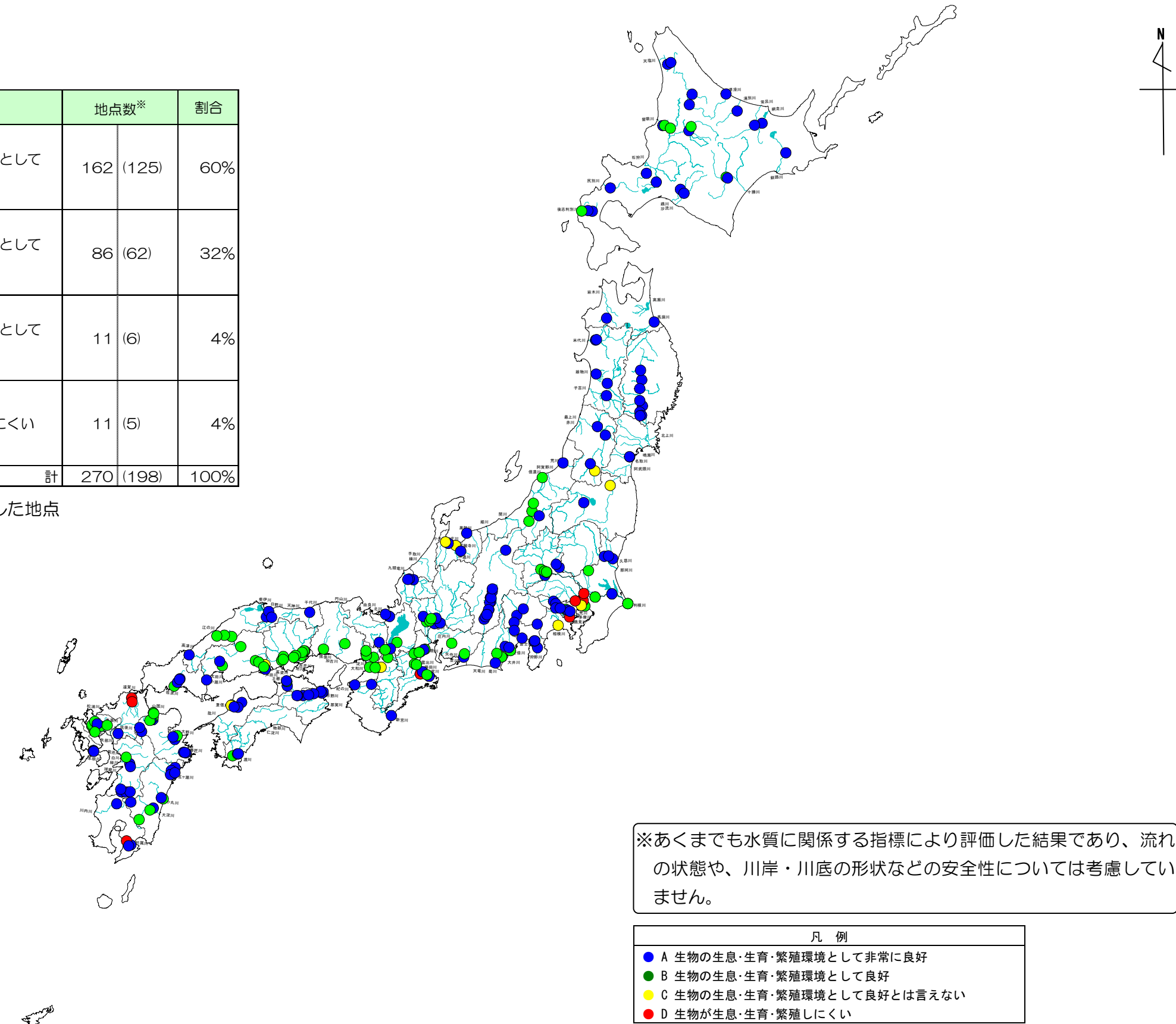


図-29(2) 平成24年「豊かな生態系の確保」調査結果

平成24年「利用しやすい水質の確保」調査結果

凡例	ランク	説明	地点数	割合
	A	より利用しやすい	91	62%
	B	利用しやすい	37	25%
	C	利用するためには高度な処理が必要	18	12%
計			146	100%

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

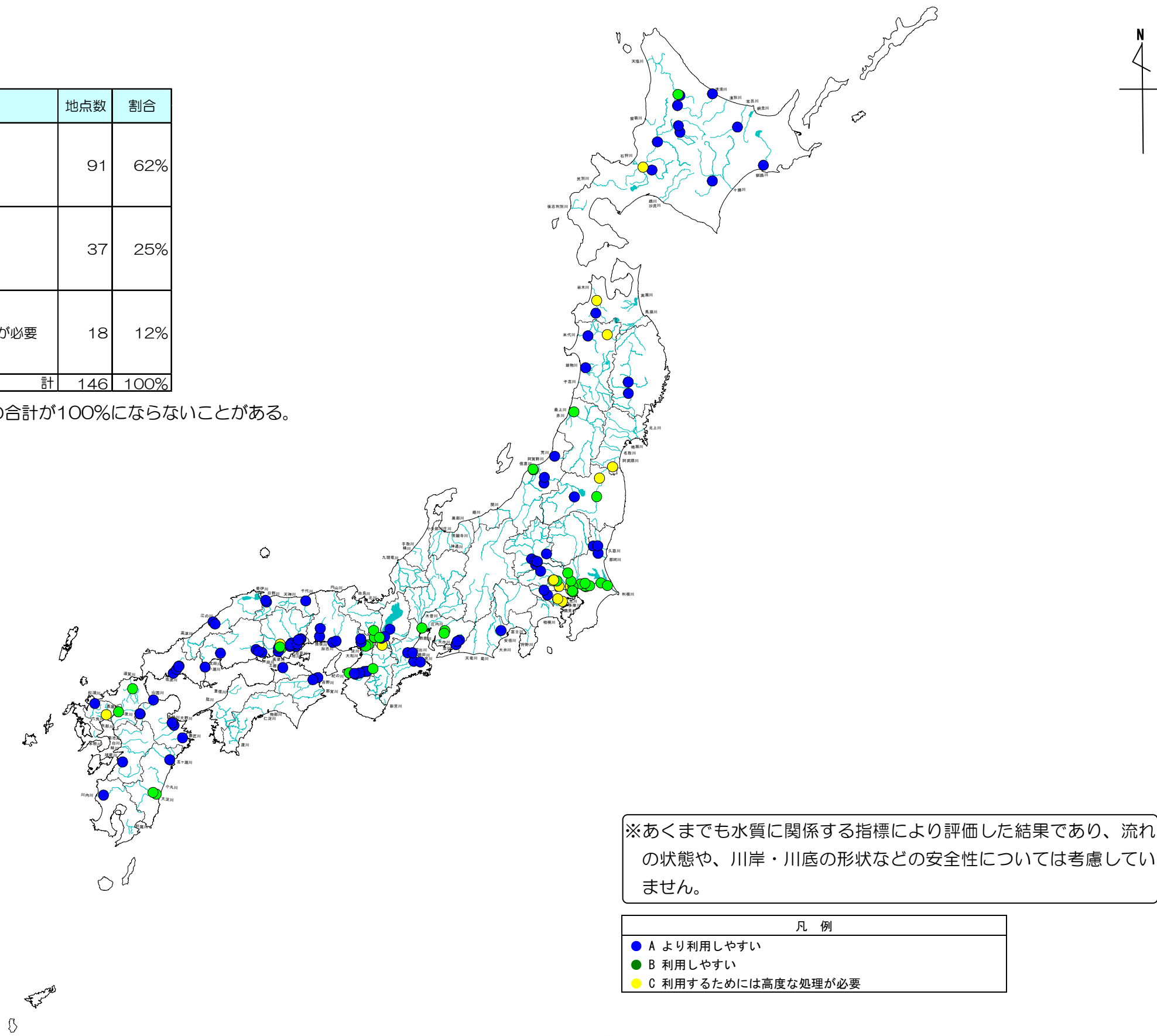


図-29(3) 平成24年「利用しやすい水質の確保」調査結果

表-28(1) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
北海道	釧路川	釧路川	愛国浄水場取水口	-	-	A
北海道	釧路川	釧路川	標茶水辺の楽校	B	A	-
北海道	後志利別川	後志利別川	花石	A	-	-
北海道	後志利別川	後志利別川	兜野橋（河口）	B	B	-
北海道	後志利別川	後志利別川	今金橋	A	A	-
北海道	後志利別川	後志利別川	住吉	A	A	-
北海道	沙流川	沙流川	沙流川橋	C	-	-
北海道	沙流川	沙流川	長知内橋	B	A	-
北海道	沙流川	沙流川	平取	C	-	-
北海道	十勝川	札内川	札内橋	B	A	-
北海道	十勝川	札内川	南帯橋	-	-	A
北海道	十勝川	十勝川	十勝大橋	B	B	-
北海道	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	C	A	A
北海道	常呂川	常呂川	金比羅橋	-	-	A
北海道	常呂川	常呂川	若松橋	B	A	-
北海道	尻別川	尻別川	豊国橋下流	B	A	-
北海道	石狩川	雨童川	沼田大橋下流	C	B	-
北海道	石狩川	漁川	中島橋下流	B	A	-
北海道	石狩川	空知川	空知大橋	-	-	A
北海道	石狩川	石狩川	永山橋	B	B	A
北海道	石狩川	石狩川	納内橋上流	B	-	-
北海道	石狩川	千歳川	新江別橋	-	-	C
北海道	石狩川	忠別川	神楽岡公園	B	A	-
北海道	石狩川	忠別川	東神楽橋	-	-	A
北海道	石狩川	豊平川	幌平橋下流	B	A	-
北海道	石狩川	夕張川	馬迫橋	-	-	A
北海道	天塩川	天塩川	土別橋上流	A	A	-
北海道	天塩川	天塩川	中土別橋	-	-	A
北海道	天塩川	天塩川	名寄大橋	-	-	B
北海道	天塩川	名寄川	真勲別頭首工	-	-	A
北海道	天塩川	名寄川	日進橋上流	A	A	-
北海道	天塩川	問寒別川	問寒別川河口付近	A	A	-
北海道	天塩川	雄信内川	栄橋上流左岸付近	A	A	-
北海道	鶴川	鶴川	徳別橋	A	A	-
北海道	鶴川	鶴川	鶴川橋	C	-	-
北海道	網走川	網走川	大正橋	B	A	-
北海道	湧別川	湧別川	遠軽橋	C	A	-
北海道	留萌川	留萌川	橋橋	B	B	-
北海道	留萌川	留萌川	幌糠水辺の楽校	C	A	-
東北	阿武隈川	阿武隈川	阿久津	-	-	B
東北	阿武隈川	阿武隈川	丸森	-	-	C
東北	阿武隈川	阿武隈川	黒岩	-	-	C
東北	阿武隈川	阿武隈川	天神橋	D	C	-
東北	岩木川	岩木川	乾橋	-	-	C
東北	岩木川	岩木川	上岩木橋	C	A	A
東北	最上川	最上川	砂越	-	-	B
東北	最上川	最上川	長井橋下流	B	A	-
東北	最上川	最上川	平柳橋下流	C	C	-
東北	最上川	鮭川	戸沢橋	A	A	-
東北	最上川	丹生川	丹生川大橋	B	A	-
東北	馬淵川	馬淵川	水辺の楽校	C	A	-
東北	米代川	米代川	十二所	-	-	C
東北	米代川	米代川	二ッ井	-	-	A
東北	米代川	米代川	能代市二ッ井町大林地区	-	A	-
東北	米代川	米代川	能代市二ッ井町富根地区	-	A	-
東北	北上川	胆沢川	再巡橋	B	A	-
東北	北上川	中津川	中の橋	B	A	-
東北	北上川	磐井川	上の橋	B	A	-
東北	北上川	磐井川	東大橋	C	A	-
東北	北上川	北上川	金ヶ崎橋	-	-	A
東北	北上川	北上川	高館橋	B	A	-
東北	北上川	北上川	珊瑚橋	A	A	-
東北	北上川	北上川	紫波南大橋	B	A	-
東北	北上川	北上川	朝日橋	-	-	A
東北	北上川	北上川	藤橋	A	A	-
東北	名取川	広瀬川	広瀬橋	A	A	-
東北	名取川	広瀬川	八本松地点	A	A	-
東北	雄物川	岩見川	豊成橋	B	A	A
東北	雄物川	雄物川	岳見橋	B	A	-
東北	雄物川	雄物川	雄物川橋	A	A	-

表-28(2) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
関東	久慈川	久慈川	富岡橋	C	A	A
関東	久慈川	山田川	東橋	C	A	-
関東	荒川	越辺川	落合橋(越)	C	-	C
関東	荒川	荒川	開平橋	C	-	B
関東	荒川	荒川	久下橋	B	-	-
関東	荒川	荒川	御成橋	B	-	-
関東	荒川	荒川	治水橋	C	-	-
関東	荒川	荒川	秋ヶ瀬堰(上)	C	-	C
関東	荒川	荒川	新荒川大橋	C	D	-
関東	荒川	荒川	正喜橋	A	-	A
関東	荒川	荒川	平井大橋	C	C	-
関東	荒川	高麗川	高麗川大橋	B	-	-
関東	荒川	小畔川	とげ橋	C	-	C
関東	荒川	都幾川	東松山橋	B	-	-
関東	荒川	入間川	入間大橋	C	-	C
関東	荒川	入間川	落合橋(入)	C	-	B
関東	相模川	相模川	神川橋	B	C	-
関東	多摩川	浅川	高幡橋	C	A	-
関東	多摩川	浅川	鶴巻橋	B	A	-
関東	多摩川	多摩川	永田橋	B	A	-
関東	多摩川	多摩川	新二子橋	C	A	-
関東	多摩川	多摩川	多摩水道橋	C	A	C
関東	多摩川	多摩川	多摩川原橋	B	B	-
関東	多摩川	多摩川	調布橋	B	A	A
関東	多摩川	多摩川	田園調布堰(上)	-	-	C
関東	多摩川	多摩川	拝島橋	C	A	A
関東	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	C	D	-
関東	那珂川	那珂川	下国井	-	-	A
関東	那珂川	那珂川	那珂川大橋	C	A	-
関東	那珂川	那珂川	野口	-	-	A
関東	富士川	笛吹川	鶴飼橋	A	A	-
関東	富士川	富士川	南部橋	A	A	-
関東	富士川	富士川	富山橋	B	A	-
関東	富士川	富士川	富士川橋	A	A	-
関東	利根川	綾瀬川	内匠橋	-	D	-
関東	利根川	烏川	岩倉橋	C	B	A
関東	利根川	烏川	岩鼻	C	B	A
関東	利根川	烏川	高松	B	B	A
関東	利根川	鬼怒川	宇都宮市平石地区下田	B	-	-
関東	利根川	江戸川	関宿橋	-	-	B
関東	利根川	江戸川	新葛飾橋	-	-	B
関東	利根川	江戸川放水路	東西線鉄橋下	-	B	-
関東	利根川	江戸川	野田橋	-	-	B
関東	利根川	江戸川	矢切取水口	-	-	B
関東	利根川	江戸川	流山橋	-	-	B
関東	利根川	小貝川	成田橋	B	B	-
関東	利根川	小貝川	中郷	-	-	B
関東	利根川	小貝川	中郷(右岸)	C	-	-
関東	利根川	小貝川	中郷(左岸)	C	-	-
関東	利根川	神流川	神流川橋	B	B	A
関東	利根川	神流川	藤武橋	B	A	A
関東	利根川	男鹿川	男鹿川末流	B	A	-
関東	利根川	中川	高砂橋	-	D	-
関東	利根川	中川	潮止橋	-	D	-
関東	利根川	中川	八条橋	-	-	C
関東	利根川	中川	飯塚橋	-	-	C
関東	利根川	渡良瀬川	赤岩用水取水口	B	A	A
関東	利根川	渡良瀬川	葉鹿橋	A	A	-
関東	利根川	利根運河	運河橋	D	D	-
関東	利根川	利根川	河口堰	-	-	B
関東	利根川	利根川	取手	-	-	B
関東	利根川	利根川	取手(右岸)	C	-	-
関東	利根川	利根川	取手(左岸)	C	-	-
関東	利根川	利根川	須賀	-	-	B
関東	利根川	利根川	水郷大橋	-	-	B
関東	利根川	利根川	水郷大橋(右岸)	C	A	-
関東	利根川	利根川	水郷大橋(左岸)	D	A	-
関東	利根川	利根川	銚子大橋(右岸)	D	B	-
関東	利根川	利根川	銚子大橋(左岸)	D	B	-
関東	利根川	利根川	布川	-	-	B

表-28(3) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の豊かなふれあい	豊かな生態系	利用しやすい水質
関東	利根川	利根川	布川（右岸）	C	B	-
関東	利根川	利根川	布川（左岸）	C	B	-
関東	利根川	利根川	木下	-	-	B
関東	利根川	流水保全水路	ふれあい松戸川	C	D	-
北陸	阿賀野川	阿賀川	馬越橋	-	-	A
北陸	阿賀野川	阿賀川	本郷大橋	A	A	-
北陸	阿賀野川	阿賀野川	馬下	-	-	A
北陸	荒川	荒川	荒川橋	A	A	-
北陸	荒川	荒川	荒川取水堰	-	-	A
北陸	黒部川	黒部川	下黒部橋	B	A	-
北陸	手取川	手取川	辰口橋	C	-	-
北陸	小矢部川	小矢部川	国条橋	C	C	-
北陸	庄川	庄川	大門大橋	A	A	-
北陸	常願寺川	常願寺川	立山橋	A	A	-
北陸	信濃川	信濃川	信濃川取水塔	-	-	B
北陸	信濃川	信濃川	平成大橋	-	B	B
北陸	信濃川	信濃川	旭橋	D	B	-
北陸	信濃川	信濃川	十日町橋	C	B	-
北陸	信濃川	信濃川	長生橋	D	B	-
北陸	信濃川	魚野川	小出橋	B	A	-
北陸	信濃川	千曲川	屋島橋	D	A	-
北陸	信濃川	千曲川	生田	-	-	A
北陸	神通川	神通川	神通大橋	A	C	-
北陸	梯川	梯川	鴨浦橋	B	-	-
中部	安倍川	安倍川	安倍川大橋	A	A	-
中部	安倍川	安倍川	曙橋	-	-	A
中部	安倍川	安倍川	南安倍川橋	C	B	-
中部	安倍川	蘆科川	富厚里橋	C	A	-
中部	雲出川	雲出川	雲出橋	C	-	A
中部	雲出川	雲出川	小戸木橋	B	B	-
中部	雲出川	雲出川	大仰橋	A	-	A
中部	雲出川	雲出川	入田橋	B	B	-
中部	菊川	菊川	高田橋	C	A	-
中部	宮川	宮川	岩出	A	-	-
中部	宮川	宮川	度会橋	A	B	A
中部	宮川	五十鈴川	御側橋	C	A	-
中部	櫛田川	櫛田川	櫛田橋	B	A	-
中部	櫛田川	櫛田川	両郡橋	B	D	A
中部	狩野川	黄瀬川	黄瀬川橋下流	B	A	-
中部	狩野川	黄瀬川	黄瀬川大橋上流	B	A	-
中部	狩野川	狩野川	黒瀬橋	-	A	-
中部	狩野川	狩野川	千歳橋下流	B	A	-
中部	狩野川	狩野川	大仁橋上流	A	A	-
中部	大井川	大井川	神座	C	B	-
中部	大井川	大井川	谷口橋(右岸)	C	B	-
中部	大井川	大井川	谷口橋(左岸)	C	C	-
中部	天竜川	蛇川	新蛇川橋	A	A	-
中部	天竜川	横川	伊那富橋	A	A	-
中部	天竜川	三峰川	竜東橋上流	A	A	-
中部	天竜川	松川	上溝橋	A	A	-
中部	天竜川	前沢川	新前沢橋	A	A	-
中部	天竜川	太田切川	大田原橋	A	A	-
中部	天竜川	天竜川	伊那路橋	C	A	-
中部	天竜川	天竜川	駒見大橋	A	A	-
中部	天竜川	天竜川	天の中川橋	A	A	-
中部	天竜川	天竜川	天竜橋	A	A	-
中部	天竜川	天竜川	平成大橋	B	A	-
中部	天竜川	天竜川	明神橋	A	A	-
中部	豊川	豊川	江島橋	B	B	A
中部	豊川	豊川	石田	-	-	A
中部	豊川	豊川	当古橋	B	A	A
中部	木曽川	伊自良川	繰船橋	D	B	-
中部	木曽川	長良川	伊勢大橋	-	-	B
中部	木曽川	長良川	鏡島大橋	B	B	-
中部	木曽川	長良川	藍川橋	B	A	-
中部	木曽川	木曽川	犬山橋	B	A	-
中部	木曽川	木曽川	木曽川橋	A	A	-
中部	木曽川	揖斐川	岡島橋	A	A	-
中部	木曽川	揖斐川	鷺田橋	B	B	-
中部	矢作川	矢作川	岩津天神橋	-	-	B

表-28(4) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
中部	矢作川	矢作川	明治頭首工	D	B	-
中部	矢作川	矢作川	明治用水頭首工	-	-	B
中部	鈴鹿川	安楽川	和泉橋	C	B	-
中部	鈴鹿川	内部川	河原田橋	B	A	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	勸進橋	A	B	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	D	-	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	山下橋	B	B	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	小倉橋	B	B	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	庄野橋	B	B	-
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	鈴国橋	A	-	-
近畿	加古川	加古川	国包	-	-	A
近畿	加古川	加古川	池尻	-	-	A
近畿	加古川	加古川	板波	B	B	-
近畿	紀の川	紀の川	岸上橋	-	-	A
近畿	紀の川	紀の川	九度山橋	A	A	-
近畿	紀の川	紀の川	三谷橋	-	-	A
近畿	紀の川	紀の川	新六ヶ井堰	-	-	B
近畿	紀の川	紀の川	船戸	-	-	A
近畿	紀の川	紀の川	大川橋	-	-	B
近畿	紀の川	紀の川	藤崎井堰	-	-	A
近畿	紀の川	貴志川	高島橋	-	-	A
近畿	紀の川	千手川	出世不動明王	A	A	-
近畿	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園	A	A	-
近畿	九頭竜川	九頭竜川	福井大橋下流	A	A	-
近畿	九頭竜川	九頭竜川	鳴鹿橋上流	A	A	-
近畿	新宮川	相野谷川	相野谷橋下流	A	A	-
近畿	大和川	大和川	河内橋	D	B	-
近畿	大和川	大和川	御幸大橋	D	C	-
近畿	大和川	大和川	浅香	C	B	-
近畿	大和川	大和川	藤井	B	B	-
近畿	北川	北川	高塚橋	B	A	-
近畿	北川	北川	三宅橋	B	A	-
近畿	北川	北川	天徳寺橋	B	A	-
近畿	揖保川	揖保川	山崎	-	-	A
近畿	揖保川	揖保川	千鳥ヶ浜	B	B	-
近畿	揖保川	揖保川	龍野	-	-	A
近畿	淀川	宇治川	宇治橋	C	B	B
近畿	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	-	-	B
近畿	淀川	宇治川	大峰橋	-	A	A
近畿	淀川	桂川	宮前橋	-	-	B
近畿	淀川	桂川	渡月橋	B	A	B
近畿	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	B	A	A
近畿	淀川	猪名川	こんにやく橋	B	B	-
近畿	淀川	猪名川	銀橋	-	-	A
近畿	淀川	猪名川	桑津橋	B	B	-
近畿	淀川	猪名川	軍行橋	-	-	A
近畿	淀川	猪名川	池田床固下流	B	B	-
近畿	淀川	木津川	加茂恭仁大橋	-	-	C
近畿	淀川	木津川	恭仁大橋	B	B	-
近畿	淀川	木津川	木津川御幸橋	-	-	C
近畿	淀川	野洲川	石部	C	B	-
近畿	淀川	野洲川	野洲川大橋	-	-	A
近畿	淀川	淀川	柴島（表層）	-	-	B
近畿	淀川	淀川	鳥飼大橋	C	B	-
近畿	淀川	淀川	鳥飼大橋（左岸）	-	-	B
中国	旭川	旭川	乙井手堰	-	-	A
中国	旭川	旭川	合同堰	-	-	A
中国	旭川	旭川	三野	B	B	-
中国	旭川	旭川	新大原橋	B	B	-
中国	旭川	旭川	相生橋	-	-	A
中国	芦田川	芦田川	山手橋	C	B	-
中国	芦田川	芦田川	小水呑橋	D	A	-
中国	芦田川	芦田川	上戸手	-	-	A
中国	芦田川	芦田川	大井手頭首工	-	B	-
中国	芦田川	芦田川	中津原	-	-	A
中国	芦田川	芦田川	中津原取水堰	B	-	-
中国	芦田川	芦田川	府中新橋	A	B	-
中国	芦田川	芦田川	府中大橋	-	-	A
中国	芦田川	芦田川	府中大渡橋	A	-	-
中国	芦田川	芦田川	福戸橋	B	-	-

表-28(5) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の豊かなふれあい	豊かな生態系	利用しやすい水質
中国	芦田川	高屋川	掛の橋	D	-	-
中国	芦田川	高屋川	出原橋	C	-	-
中国	芦田川	高屋川	鶴ヶ橋	C	-	-
中国	芦田川	高屋川	白鷺橋	-	C	-
中国	芦田川	砂川	中須大橋	B	-	-
中国	芦田川	瀬戸川	観音橋	C	-	-
中国	吉井川	吉井川	鴨越堰	-	-	A
中国	吉井川	吉井川	弓削橋	-	-	A
中国	吉井川	吉井川	熊山橋	A	B	A
中国	吉井川	吉井川	坂根堰	-	-	B
中国	吉井川	吉井川	備前大橋	A	B	A
中国	吉井川	吉井川	和気橋	C	B	A
中国	吉井川	金剛川	宮橋	B	B	A
中国	江の川	江の川	桜江大橋	-	-	A
中国	江の川	江の川	祝橋下流	B	B	-
中国	江の川	江の川	川戸	A	B	-
中国	江の川	江の川	川平9k700	-	-	A
中国	江の川	江の川	川本	B	B	-
中国	江の川	江の川	都賀本郷	A	B	-
中国	高津川	高津川	神田	A	A	-
中国	高梁川	高梁川	霞橋	-	-	A
中国	高梁川	高梁川	笠井堰	-	-	B
中国	高梁川	高梁川	川辺橋	C	B	B
中国	高梁川	高梁川	湛井堰	B	B	C
中国	高梁川	小田川	福松橋	B	B	A
中国	佐波川	佐波川	漆尾	A	A	A
中国	佐波川	佐波川	小野水辺の楽校	B	A	A
中国	佐波川	佐波川	新橋	B	B	A
中国	佐波川	佐波川	堀	A	A	A
中国	小瀬川	小瀬川	両国橋	A	A	A
中国	千代川	千代川	源太橋	B	A	A
中国	太田川	太田川	壬辰橋	A	A	-
中国	太田川	太田川	矢口川上流	B	B	A
中国	天神川	国府川	高城水辺の楽校	B	-	-
中国	天神川	国府川	福光橋	A	-	-
中国	天神川	三徳川	大瀬水辺の楽校	B	-	-
中国	天神川	小鴨川	下大江親水護岸	A	-	-
中国	天神川	小鴨川	関金水辺の楽校	B	-	-
中国	天神川	小鴨川	出口橋	A	-	-
中国	天神川	小鴨川	松河原大橋	A	-	-
中国	天神川	天神川	小田橋	A	-	-
中国	天神川	天神川	竹田橋	A	-	-
中国	日野川	日野川	鬼守橋	B	A	-
中国	日野川	日野川	車尾堰	C	A	-
中国	日野川	日野川	鳥取県米子市車尾地先	-	-	A
中国	日野川	日野川	鳥取県米子市東八幡地先	-	-	A
中国	日野川	法勝寺川	五ヶ堰下流	B	A	-
四国	吉野川	鮎喰川	鮎喰	-	A	-
四国	吉野川	吉野川	学島橋下流	A	A	-
四国	吉野川	吉野川	高瀬橋	-	-	A
四国	吉野川	吉野川	西条大橋上流	B	A	-
四国	吉野川	吉野川	第十堰貯水池内	-	A	-
四国	吉野川	吉野川	美馬橋下流	A	A	-
四国	吉野川	旧吉野川	市場橋	-	-	A
四国	吉野川	旧吉野川	大津橋	-	A	-
四国	吉野川	穴吹川	穴吹新橋	-	A	-
四国	吉野川	今切川	加賀須野橋	-	A	-
四国	重信川	重信川	重信橋	B	A	-
四国	重信川	重信川	出合橋	C	C	-
四国	重信川	重信川	拝志大橋	C	A	-
四国	重信川	重信川	木地堰堤	A	A	-
四国	重信川	石手川	市坪	B	B	-
四国	渡川	後川	後川	B	A	-
四国	渡川	四万十川	具同	A	B	-
四国	渡川	中筋川	中筋川	B	B	-
四国	土器川	土器川	丸亀橋	-	-	A
四国	土器川	土器川	丸亀大橋	C	A	-
四国	土器川	土器川	高速道路橋	B	B	-
四国	土器川	祓川橋	祓川橋	B	A	-
四国	那賀川	那賀川	阿南市羽ノ浦町明見	D	-	-

表-28(6) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地方	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しやすい 水質
九州	遠賀川	遠賀川	溝堀	C	D	-
九州	遠賀川	笹尾川	笹尾川水辺の楽校	B	D	-
九州	遠賀川	彦山川	中島	-	-	B
九州	嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	-	-	C
九州	嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	B	B	-
九州	肝属川	始良川	鶴嶺橋	B	A	-
九州	肝属川	肝属川	鹿屋小前	C	D	-
九州	肝属川	高山川	大脇床止	B	A	-
九州	球磨川	球磨川	横石	-	-	A
九州	球磨川	球磨川	球磨橋下流	B	A	-
九州	球磨川	球磨川	球磨大橋上流	B	A	-
九州	球磨川	球磨川	中川原公園	B	A	-
九州	球磨川	川辺川	権現橋	A	A	-
九州	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	B	A	A
九州	五ヶ瀬川	祝子川	桑平橋	A	A	-
九州	五ヶ瀬川	小川	永代橋	A	A	-
九州	五ヶ瀬川	大瀬川	大瀬橋	B	A	-
九州	五ヶ瀬川	友内川	リバーノバル	-	A	-
九州	山国川	山国川	下唐原	B	B	A
九州	山国川	山国川	柿坂	B	B	-
九州	山国川	山国川	城井橋	B	A	-
九州	山国川	山国川	大平橋	B	B	-
九州	山国川	山国川	平成大堰	B	B	-
九州	山国川	跡田川	上津小学校横	B	A	-
九州	小丸川	小丸川	高城橋	C	A	-
九州	小丸川	小丸川	竹鳩橋	B	B	-
九州	松浦川	厳木川	厳木コミュニティーセンター	C	A	-
九州	松浦川	厳木川	中山	B	B	-
九州	松浦川	厳木川	町切堰	B	B	-
九州	松浦川	松浦川	久里橋	-	-	A
九州	松浦川	松浦川	大黒堰	B	B	-
九州	松浦川	松浦川	桃川親水公園	C	B	-
九州	川内川	針持川	新古川橋上流	C	A	-
九州	川内川	川内川	谷淵	-	-	A
九州	川内川	川内川	麓橋上流	B	A	-
九州	大分川	大分川	広瀬橋	-	-	C
九州	大分川	大分川	府内大橋	B	A	A
九州	大野川	乙津川	水辺の楽校	C	B	-
九州	大野川	大野川	白滝橋	B	A	A
九州	大淀川	大淀川	浦之名川合流点	B	B	-
九州	大淀川	大淀川	乙房橋	C	B	-
九州	大淀川	大淀川	相生橋	-	-	B
九州	大淀川	本庄川	本庄橋	B	A	B
九州	筑後川	筑後川	三隈大橋	-	-	A
九州	筑後川	筑後川	瀬ノ下	-	-	B
九州	筑後川	筑後川	台霧の瀬	B	A	-
九州	筑後川	筑後川	大山水辺ブラザ	A	A	-
九州	筑後川	筑後川	島内堰	-	-	A
九州	白川	白川	子飼橋	C	B	-
九州	白川	白川	代継橋	C	-	-
九州	番匠川	番匠川	笠掛水辺の楽校	A	-	-
九州	番匠川	番匠川	上岡	B	A	-
九州	番匠川	番匠川	森下橋	A	-	-
九州	番匠川	番匠川	池船スポーツ公園	B	A	-
九州	番匠川	番匠川	番匠公園	B	A	A
九州	本明川	本明川	旭町	C	-	-
九州	本明川	本明川	眼鏡橋	C	A	-
九州	本明川	本明川	四面橋	B	A	-
九州	本明川	本明川	鉄道橋	B	A	-
九州	本明川	本明川	天満公園前	B	-	-
九州	矢部川	矢部川	船小屋	B	A	-
九州	緑川	緑川	中甲橋	B	A	-
九州	緑川	緑川	津志田	C	A	-
九州	六角川	生津川	妙見橋	C	B	-
九州	六角川	武雄川	武雄川	B	C	-
九州	六角川	六角川	溝ノ上	B	B	-

川の魅力アップ ～新しい水質指標での評価結果より～

新しい水質指標による評価は、平成17年より毎年、数多くの調査地点で行われてきました。

調査当初と現在の評価を比較すると、評価が良くなっている調査地点も多数あります（表①）。「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、平成17年と比べて2ランクアップした調査地点が全国で9地点ありました（図①）。なお、3ランクアップした地点はありませんでした。

今後も引き続き調査を続けることで、調査地点の水質の状況が経年的に比較できます。結果を活用して評価ランクが下がってしまっている原因を確認できれば、更なる水質改善に繋がるきっかけになると考えられます。

※表①は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」のいずれかの視点について平成17年と平成24年に同じ調査地点で実施されているものを対象に整理しました。

※ランク変動は、年間の総合評価ランクを数値（A=4、B=3、C=2、D=1）に置き換えて平成17年からの変動を表しています（例：H17年D→H24年Aの場合は3ランクアップ）。

※表①の凡例は、下図の通りです。

【凡例】

年間評価ランク：■Aランク、■Bランク、■Cランク、■Dランク

ランク変動：（ランクアップ）↑3、↑2、↑1

：（変動なし）→0

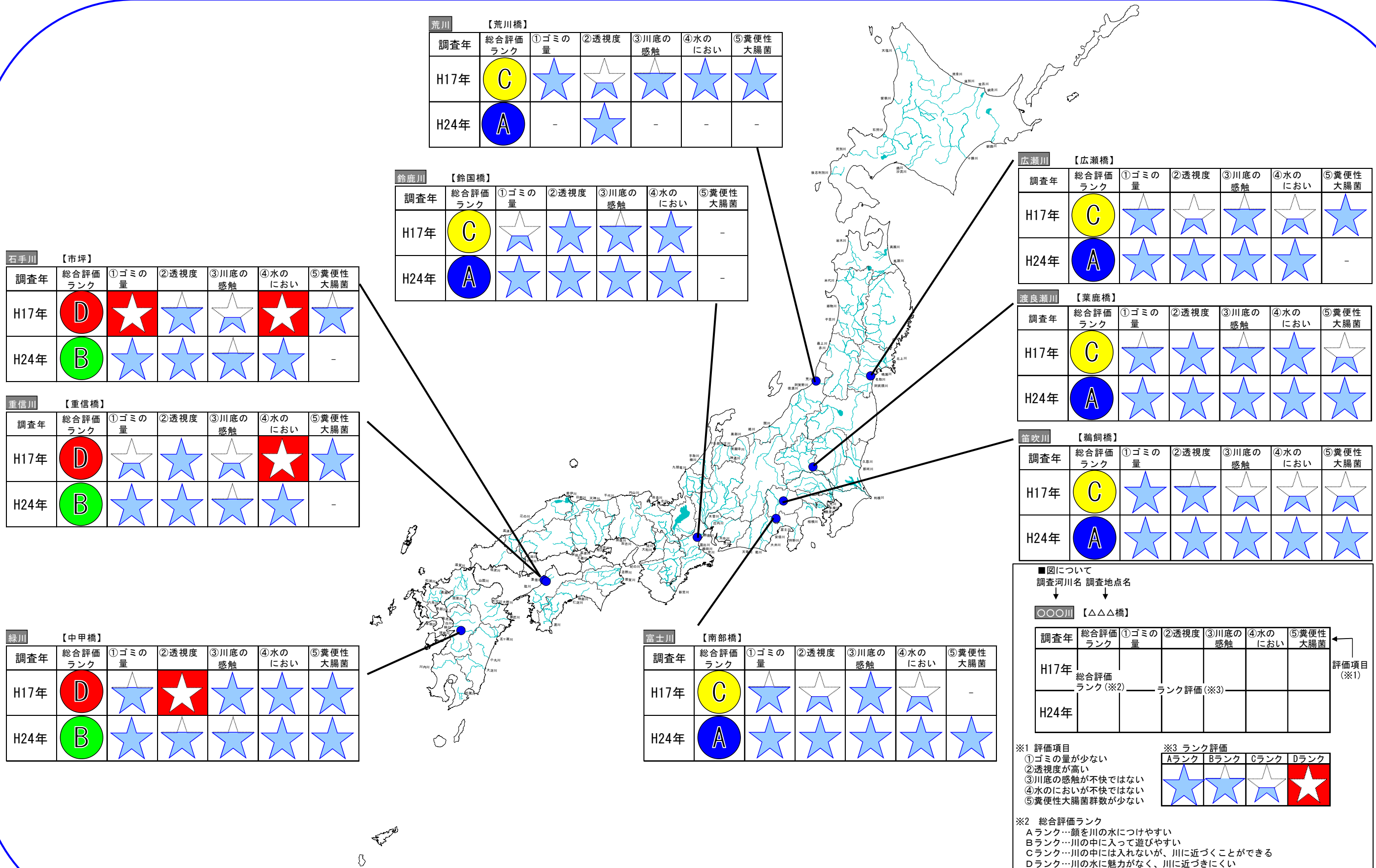
：（ランクダウン）↓-1、↓-2、↓-3

表① 年間評価ランクの変動状況一覧表(1/2)

地方	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動		
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用
				H17年	H24年	H17年	H24年	H17年	H24年			
北海道	釧路川	釧路川	愛国浄水場取水口	-	-	-	-	A	A	-	-	0
北海道	沙流川	沙流川	長知内橋	B	B	B	A	-	-	0	1	-
北海道	十勝川	札内川	札内橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-
北海道	十勝川	札内川	南帯橋	-	-	-	-	A	A	-	-	0
北海道	十勝川	十勝川	十勝大橋	C	B	B	B	-	-	1	0	-
北海道	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	-	C	A	A	A	A	-	0	0
北海道	尻別川	尻別川	豊国橋下流	B	B	A	A	-	-	0	0	-
北海道	石狩川	石狩川	永山橋	-	B	-	B	A	A	-	-	0
北海道	石狩川	豊平川	幌平橋下流	A	B	A	A	A	-	-1	0	-
北海道	天塩川	天塩川	土別橋上流	B	A	C	A	-	-	1	2	-
北海道	天塩川	名寄川	真熟別頭首工	-	-	-	-	A	A	-	-	0
北海道	天塩川	名寄川	日進橋上流	B	A	A	A	-	-	1	0	-
北海道	釧路川	釧路川	穂別橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-
北海道	網走川	網走川	大正橋	B	B	A	A	-	-	0	0	-
東北	阿武隈川	阿武隈川	阿久津	-	-	-	-	B	B	-	-	0
東北	阿武隈川	阿武隈川	丸森	-	-	-	-	B	C	-	-	-1
東北	阿武隈川	阿武隈川	黒岩	-	-	-	-	B	C	-	-	-1
東北	阿武隈川	阿武隈川	天神橋	B	D	-	C	-	-	-2	-	-
東北	岩木川	岩木川	上岩木橋	-	C	-	A	A	A	-	-	0
東北	名取川	広瀬川	広瀬橋	C	A	A	A	-	-	2	0	-
関東	久慈川	久慈川	富岡橋	B	C	B	A	A	A	-1	1	0
関東	久慈川	山田川	東橋	B	C	B	A	-	-	-1	1	-
関東	荒川	荒川	久下橋	C	B	A	-	C	-	1	-	-
関東	荒川	荒川	新荒川大橋	C	C	D	D	-	-	0	0	-
関東	荒川	都幾川	東松山橋	B	B	B	-	A	-	0	-	-
関東	荒川	入間川	入間大橋	-	C	-	-	B	C	-	-	-1
関東	荒川	入間川	落合橋(入)	-	C	-	-	A	B	-	-	-1
関東	多摩川	多摩川	永田橋	B	B	-	A	-	-	0	-	-
関東	多摩川	多摩川	新二子橋	B	C	-	A	-	-	-1	-	-
関東	多摩川	多摩川	多摩水道橋	B	C	-	A	-	C	-1	-	-
関東	多摩川	多摩川	多摩川原橋	B	B	-	B	-	-	0	-	-
関東	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	C	C	-	D	-	-	0	-	-
関東	那珂川	那珂川	下国井	-	-	-	-	A	A	-	-	0
関東	那珂川	那珂川	野口	A	-	A	-	A	A	-	-	0
関東	富士川	笛吹川	鶴飼橋	C	A	A	A	-	-	2	0	-
関東	富士川	富士川	南部橋	C	A	A	A	-	-	2	0	-
関東	富士川	富士川	富山橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-
関東	富士川	富士川	富士川橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-
関東	利根川	烏川	岩倉橋	B	C	B	B	B	A	-1	0	1
関東	利根川	烏川	岩鼻	-	C	B	B	-	A	-	0	-
関東	利根川	烏川	高松	C	B	B	B	B	A	1	0	1
関東	利根川	江戸川	新葛飾橋	-	-	-	-	B	B	-	-	0
関東	利根川	江戸川	流山橋	-	-	-	-	B	B	-	-	0
関東	利根川	小貝川	中郷	-	-	-	-	C	B	-	-	1
関東	利根川	神流川	神流川橋	B	B	B	B	A	A	0	0	0
関東	利根川	神流川	藤武橋	A	B	B	A	-	A	-1	1	-
関東	利根川	男鹿川	男鹿川末流	B	B	A	A	-	-	0	0	-
関東	利根川	渡良瀬川	赤岩用水取水口	C	B	A	A	A	A	1	0	0
関東	利根川	渡良瀬川	葉鹿橋	C	A	-	A	-	-	2	-	-
関東	利根川	利根川	河口堰	-	-	-	-	C	B	-	-	1
関東	利根川	利根川	取手	-	-	-	-	B	B	-	-	0
関東	利根川	利根川	須賀	-	-	-	-	B	B	-	-	0
関東	利根川	利根川	布川	-	-	-	-	B	B	-	-	0
関東	利根川	利根川	木下	D	-	-	-	B	B	-	-	0
北陸	阿賀野川	阿賀川	馬越橋	-	-	-	-	A	A	-	-	0
北陸	荒川	荒川	荒川橋	C	A	-	A	-	-	2	-	-
北陸	荒川	荒川	荒川取水堰	-	-	-	-	A	A	-	-	0
北陸	黒部川	黒部川	下黒部橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-
北陸	庄川	庄川	大門大橋	A	A	A	A	-	-	0	0	-
北陸	常願寺川	常願寺川	立山橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-
北陸	信濃川	信濃川	平成大橋	D	-	B	B	-	B	-	0	-
北陸	信濃川	信濃川	十日町橋	C	C	-	B	-	-	0	-	-
北陸	信濃川	信濃川	長生橋	C	D	-	B	-	-	-1	-	-
北陸	信濃川	魚野川	小出橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-
北陸	信濃川	千曲川	生田	-	-	-	-	B	A	-	-	1
北陸	神通川	神通川	神通大橋	B	A	B	C	-	-	1	-1	-
北陸	梯川	梯川	鴨浦橋	B	B	A	-	-	-	0	-	-

表① 年間評価ランクの変動状況一覧表(2/2)

地方	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク				ランク変動		
				ふれあい		生態系		利用		利用
				H17年	H24年	H17年	H24年	H17年	H24年	
中部	菊川	菊川	高田橋	-	C	A	A	-	-	-
中部	宮川	宮川	度会橋	B	A	A	B	-	A	1
中部	櫛田川	櫛田川	櫛田橋	B	B	B	A	-	-	0
中部	櫛田川	櫛田川	両郎橋	C	B	D	D	-	A	1
中部	狩野川	狩野川	大仁橋上流	-	A	A	A	-	-	0
中部	大井川	大井川	神座	C	C	-	B	-	-	0
中部	豊川	豊川	江島橋	-	B	B	B	-	A	0
中部	木曽川	長良川	藍川橋	B	B	-	A	A	-	0
中部	木曽川	木曽川	木曽川橋	A	A	-	A	-	-	0
中部	木曽川	榎妻川	鷺田橋	-	B	A	B	-	-	-1
中部	矢作川	矢作川	明治頭首工	-	D	B	B	-	-	0
中部	鈴鹿川	安楽川	和泉橋	-	C	B	B	-	-	0
中部	鈴鹿川	内部川	河原田橋	-	B	B	A	-	-	1
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	勸進橋	-	A	B	B	-	-	0
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	庄野橋	B	B	B	B	-	-	0
中部	鈴鹿川	鈴鹿川	鈴国橋	C	A	B	-	-	-	2
近畿	加古川	加古川	池尻	-	-	-	-	A	A	-
近畿	紀の川	紀の川	九度山橋	-	A	B	A	-	-	1
近畿	大和川	大和川	河内橋	-	D	C	B	-	-	1
近畿	北川	北川	高塚橋	B	B	B	A	-	-	0
近畿	揖保川	揖保川	龍野	C	-	B	-	A	A	-
近畿	淀川	宇治川	宇治橋	B	C	B	B	-	B	-1
近畿	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	-	-	-	-	B	B	-
近畿	淀川	宇治川	大峰橋	-	-	A	A	B	A	0
近畿	淀川	桂川	宮前橋	-	-	-	-	C	B	-
近畿	淀川	桂川	渡月橋	B	B	B	A	-	B	0
近畿	淀川	猪名川	桑津橋	A	B	B	B	-	-	-1
近畿	淀川	木津川	木津川御幸橋	-	-	-	-	C	C	-
近畿	淀川	野洲川	野洲川大橋	B	-	C	-	B	A	-
近畿	淀川	淀川	鳥飼大橋	C	C	C	B	C	-	0
中国	旭川	旭川	乙井手堰	B	-	B	-	A	A	-
中国	吉井川	吉井川	熊山橋	B	A	B	B	A	A	1
中国	江の川	江の川	桜江大橋	-	-	A	-	A	A	-
中国	高津川	高津川	神田	B	A	A	A	-	-	1
中国	高梁川	高梁川	湛井堰	B	B	B	B	A	C	0
中国	佐波川	佐波川	新橋	B	B	B	B	-	A	0
中国	小瀬川	小瀬川	両国橋	B	A	A	A	-	A	1
中国	千代川	千代川	源太橋	B	B	A	A	A	A	0
中国	太田川	太田川	壬辰橋	B	A	A	A	-	-	1
中国	太田川	太田川	矢口川上流	-	B	B	B	A	A	-
四国	吉野川	吉野川	高瀬橋	A	-	-	-	B	A	-
四国	吉野川	旧吉野川	市場橋	C	-	-	-	C	A	-
四国	重信川	重信川	重信橋	D	B	C	A	-	-	2
四国	重信川	重信川	出合橋	C	C	C	C	B	-	0
四国	重信川	重信川	拝志大橋	B	C	A	A	-	-	-1
四国	重信川	石手川	市坪	D	B	D	B	-	-	2
四国	渡川	四万十川	具同	A	A	A	B	-	-	0
四国	土器川	土器川	丸亀橋	C	-	C	-	B	A	-
四国	土器川	土器川	祓川橋	B	B	A	A	-	-	0
九州	遠賀川	遠賀川	溝堀	C	C	C	D	-	-	0
九州	遠賀川	彦山川	中島	-	-	-	-	C	B	-
九州	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	-	B	B	A	-	A	-
九州	五ヶ瀬川	大瀬川	大瀬橋	C	B	A	A	-	-	1
九州	山国川	山国川	柿坂	A	B	-	B	-	-	-1
九州	山国川	山国川	城井橋	A	B	A	A	-	-	-1
九州	小丸川	小丸川	高城橋	C	C	A	A	-	-	0
九州	松浦川	松浦川	久里橋	-	-	-	-	A	A	-
九州	川内川	川内川	斧測	-	-	B	-	A	A	-
九州	大分川	大分川	府内大橋	B	B	B	A	A	A	0
九州	大野川	乙津川	水辺の楽校	C	C	C	B	-	-	0
九州	大野川	大野川	白滝橋	B	B	B	A	A	A	0
九州	筑後川	筑後川	三隈大橋	B	-	-	-	A	A	-
九州	筑後川	筑後川	瀬ノ下	C	-	A	-	B	B	-
九州	筑後川	筑後川	台霧の瀬	-	B	B	A	-	-	1
九州	筑後川	筑後川	島内堰	B	-	A	-	A	A	-
九州	白川	白川	子飼橋	B	C	B	B	-	-	-1
九州	白川	白川	代継橋	B	C	B	-	-	-	-1
九州	番匠川	番匠川	上岡	A	B	-	A	-	-	-1
九州	番匠川	番匠川	池船スポーツ公園	B	B	-	A	-	-	0
九州	本明川	本明川	旭町	C	C	B	-	-	-	0
九州	本明川	本明川	鉄道橋	B	B	A	A	-	-	0
九州	本明川	本明川	天満公園前	C	B	A	-	-	-	1
九州	矢部川	矢部川	船小屋	B	B	B	A	-	-	0
九州	緑川	緑川	中甲橋	D	B	A	A	-	-	2
九州	六角川	牛津川	妙見橋	C	C	B	B	-	-	0



図① 「人と河川の豊かなふれあいの確保」評価ランクの平成17年から平成24年の変化（2ランクアップの調査地点）

②各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川との比較

平成24年の各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川について、新しい水質指標により評価した結果を表-29(1)、表-29(2)に示した。

良好な河川について新しい水質指標により測定された河川についてみると、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点では川底の感触、糞便性大腸菌群数の評価が低い地点もみられるが、他の項目はAランクとなっており、BOD以外の視点からも概ね良好な河川であることが分かった。「豊かな生態系の確保」の視点、「利用しやすい水質の確保」の視点では全ての評価項目がAランクとなっており、BOD以外の視点からも良好な河川であった。

表-29(1) 平成24年の各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）
が良好な河川の新しい水質指標による評価

地方名／河川名 (水系名)	都道府県名	BOD (mg/ t)		新しい水質指標による評価												
		平均値	(75%値)	人と河川の 豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい 水質の確保				
				① ゴミの 量が少ない	② 透視度 が高い	③ 川底の 感触が 不快で は ない	④ 水の におい が不快 で は ない	⑤ 糞便性 大腸菌 群数が 少 ない	⑥ DOが 多い	⑦ NH ₄ ・ Nが少 ない	⑧ きれいな 水にす む生物 が多い	⑨ トリハ ロメタン 生成能 が少 ない	⑩ 2・ MIBが 少 ない	⑪ ジオス ミンが 少 ない	⑫ NH ₄ ・ Nが少 ない	
北海道／尻別川 (尻別川水系)	北海道	0.5	(0.5)	★	★	★	★	★	★	★	★	※未測定			★ (豊国橋 下流)	
北海道／後志利別川 (後志利別川水系)	北海道			★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★ (今金橋、 住吉、 花石の平均値)
東北／荒川 (阿武隈川水系)	福島			※未測定					※未測定			※未測定				
北陸／庄川 (庄川水系)	富山			★	★	★	★	★	★	★	★	※未測定				
近畿／北川 (北川水系)	福井			★	★	★	★	★	★	★	★	★	※未測定			★ (高塚橋)

『人と河川の豊かなふれあいの確保』				『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』		
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

※新しい水質指標による評価について

- ①それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。
- ②「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。
- ③「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。
- ④河川の水質を評価したものであり、その地点への近づき易さや河川形態などは評価の対象になっていません。
- ⑤「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。
- ⑥「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

表-29(2) 平成24年の各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）
が良好な河川の新しい水質指標による評価

地方名／河川名 (水系名)	都道府県名	BOD (mg/ℓ)		新しい水質指標による評価											
		平均値	(75%値)	人と河川の豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい水質の確保			
				① ゴミの量が 少ない	② 透視度が高 い	③ 川底の感触 が不快では ない	④ 水のにおい が不快では ない	⑤ 糞便性大腸 菌数が少な い	⑥ DOが多い	⑦ NH ₄ ・Nが 少ない	⑧ きれいな水 にすむ生物 が多い	⑨ トリハロメ タン生成能 が少ない	⑩ 2・MIBが 少ない	⑪ ジオスミン が少ない	⑫ NH ₄ ・Nが 少ない
中国／高津川 (高津川水系)	島根	0.5	(0.5)	★	★	★ (神田)	★	★	★ (神田)	★	※未測定				
四国／仁淀川 (仁淀川水系)	高知			※未測定					※未測定			※未測定			
四国／吉野川 (吉野川水系)	徳島			★ (学島橋下流、西条大橋上流、美馬橋下流の平均値)	※未測定	★	★	★ (第十道貯水池内と高瀬橋の平均値)	★ (第十道貯水池内、高瀬橋、飯沼遊水橋の平均値)	★ (第十道貯水池内、高瀬橋の平均値)	★ (学島橋下流、西条大橋上流、美馬橋下流の平均値)	★	★	★	★ (高瀬橋)
九州／川辺川 (球磨川水系)	熊本			★	★	★ (権現橋)	★	★	★ (権現橋)	★	★	※未測定			
『人と河川の豊かなふれあいの確保』				『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』							
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク					
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		

※新しい水質指標による評価について

- ①それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。
- ②「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。
- ③「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。
- ④河川の水質を評価したものであり、その地点への近づく易さや河川形態などは評価の対象になっていません。
- ⑤「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。
- ⑥「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

一方、新しい水質指標の「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点について、各調査地点の年間の総合評価ランク別に、河川のBOD平均水質との関係をまとめた結果を図-30に示す。総合評価ランクA～Dの総数はそれぞれ異なるが、Bランクと良好な評価をされた地点でもBOD平均値が比較的高い河川があることや、逆に、BOD平均値が低い河川でも、最も評価の低いDランクの地点があることがわかった。

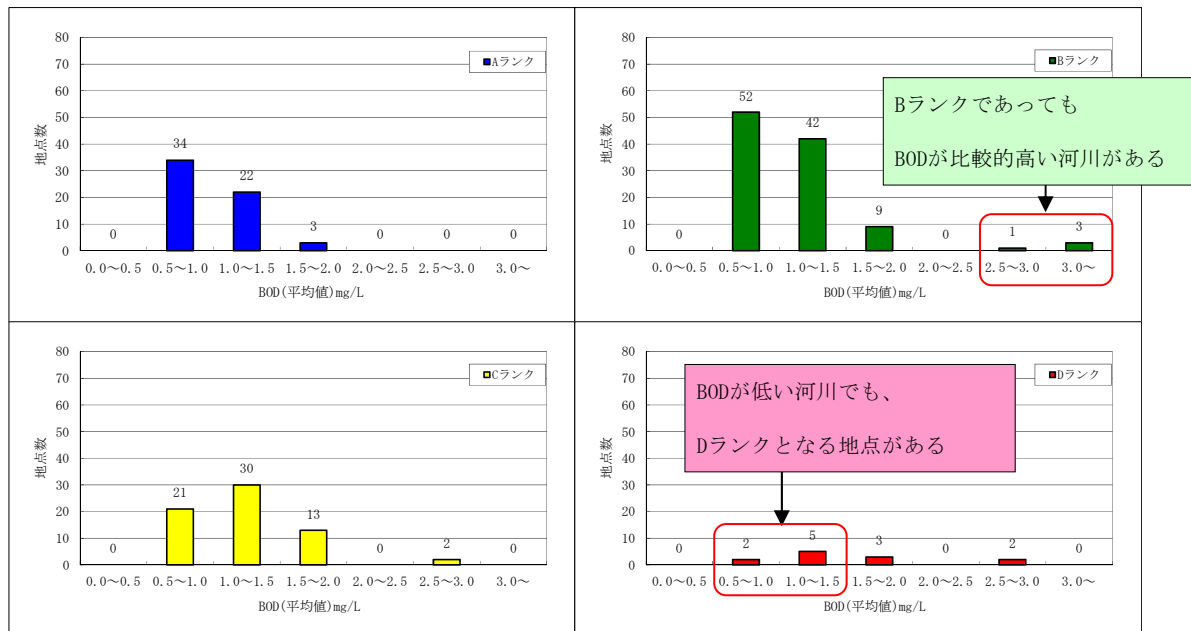


図-30 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の年間の総合評価ランク別の河川のBOD平均値と地点数

③新しい水質指標（河川）（案）による総合評価の最低ランクの原因の推定

新しい水質指標による総合評価結果のうち最低ランクの地点について、項目別評価ランクを示した（図-31(1)～図-31(4)）。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった16地点のうち利根川水系利根川の銚子大橋（左岸）ではゴミの量と透視度、大和川水系大和川の御幸大橋と河内橋ではゴミの量と水の臭い、矢作川水系矢作川の明治頭首工と鈴鹿川水系鈴鹿川の高岡橋ではゴミの量、阿武隈川水系阿武隈川の天神橋では水の臭いの評価ランクが低い時期があったことが原因であった。その他の10地点では、透視度のみの評価ランクが低い時期があったことが原因であった^{注25}。

「豊かな生態系の確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった11地点のうち、6地点ではNH₄-N、5地点ではきれいな水にすむ生物の評価ランクが低い時期があることが原因であった。

「利用しやすい水質の確保」については、総合評価ランクが最も低いCランクであった18地点のうち、関東地方の7地点ではトリハロメタン生成能とNH₄-N、高梁川水系高梁川の湛井堰ではカビ臭の原因である2-MIBの評価ランクが低い時期があることが原因であった。その他の地点のうち、6地点ではNH₄-Nが、4地点ではトリハロメタン生成能のみの評価ランクが低い時期があることが原因であった。

^{注25} 木曽川水系伊自良川の繰船橋は、河川工事の影響があった。



図-31(1) 平成24年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果 Dランクの要因分析

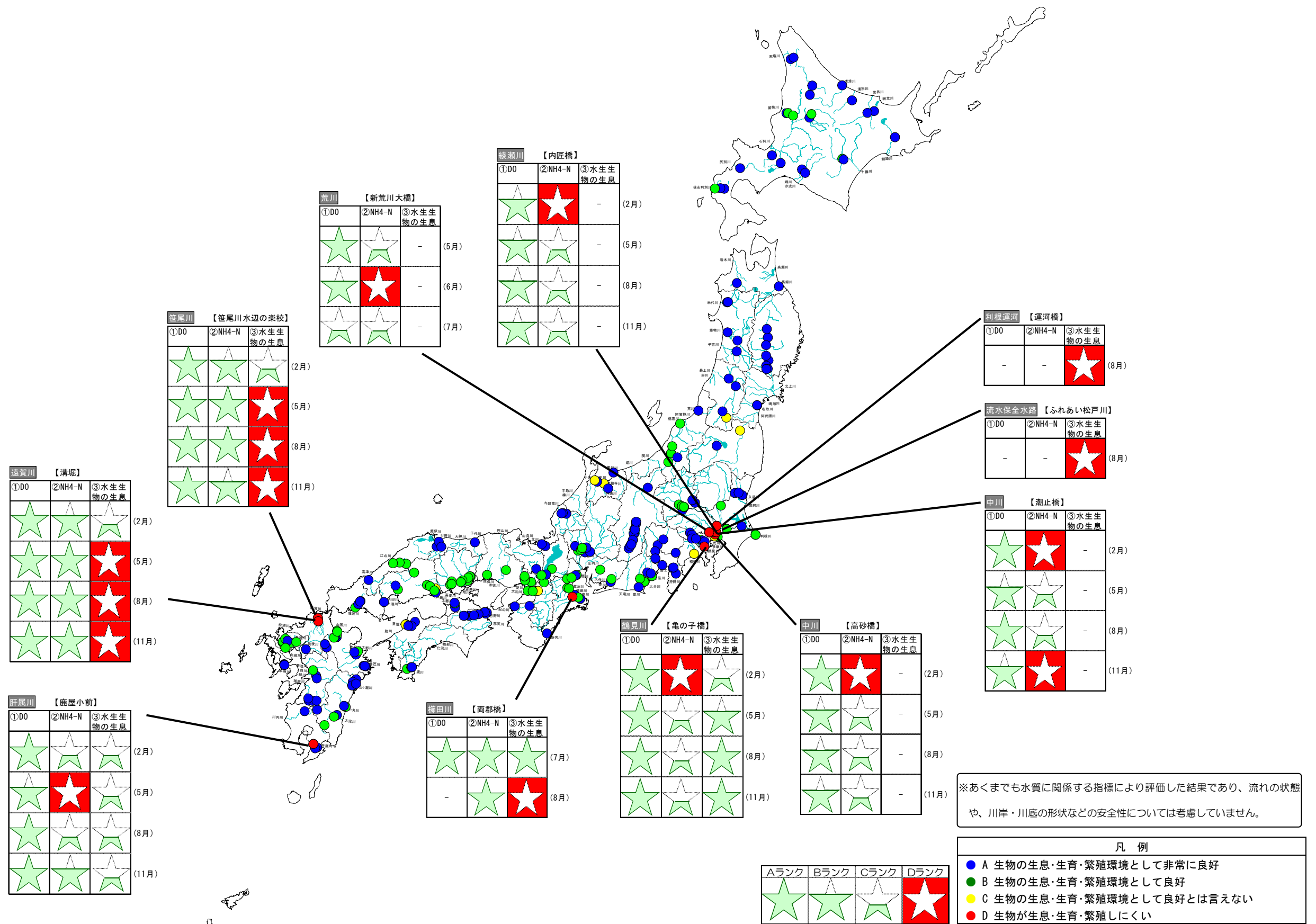
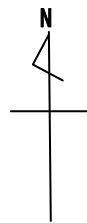


図-31(2) 平成24年「豊かな生態系の確保」調査結果 Dランクの要因分析

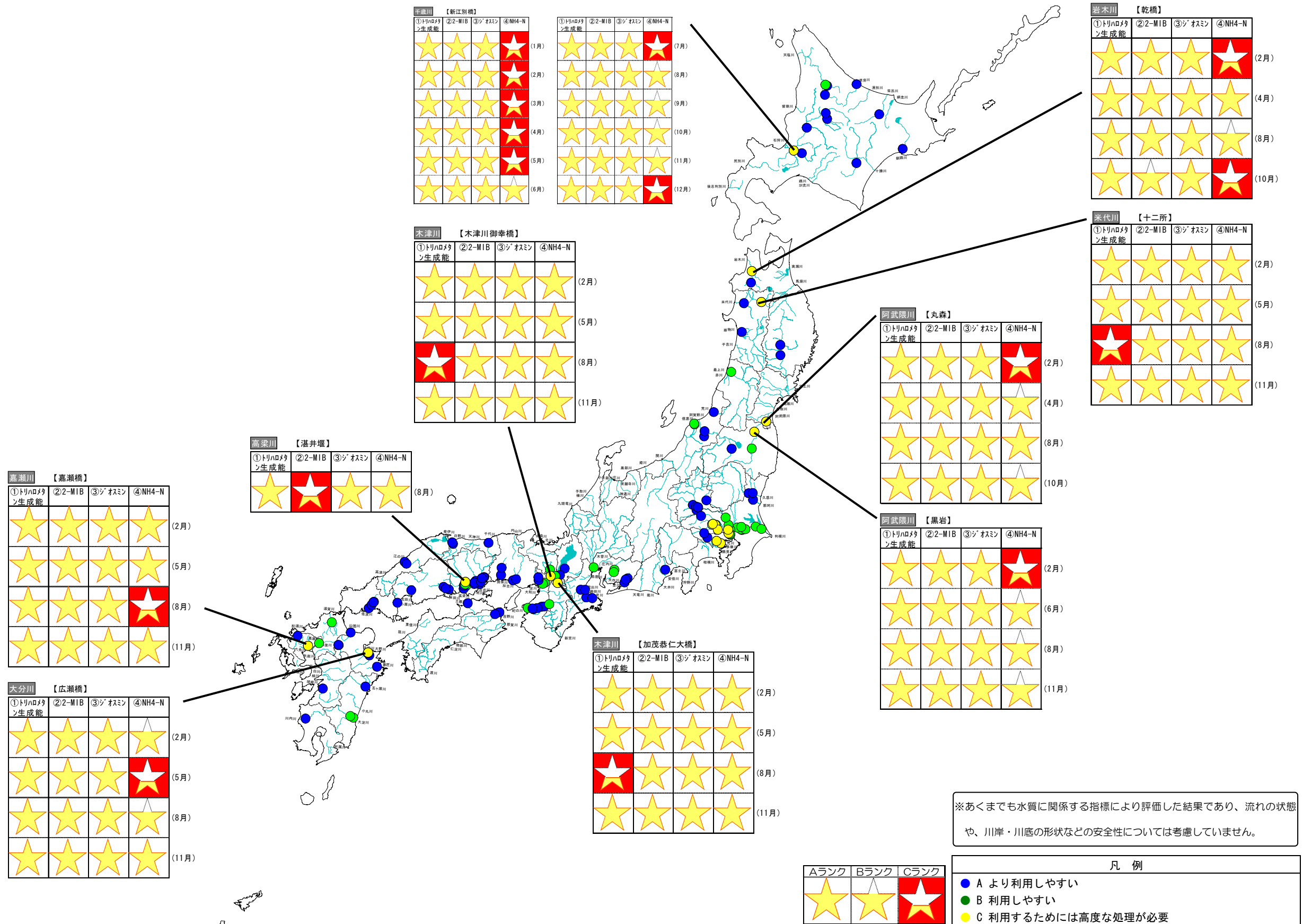
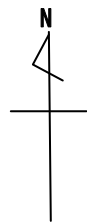


図-31(3) 平成24年「利用しやすい水質の確保」調査結果 Cランクの要因分析 (①関東地方以外)

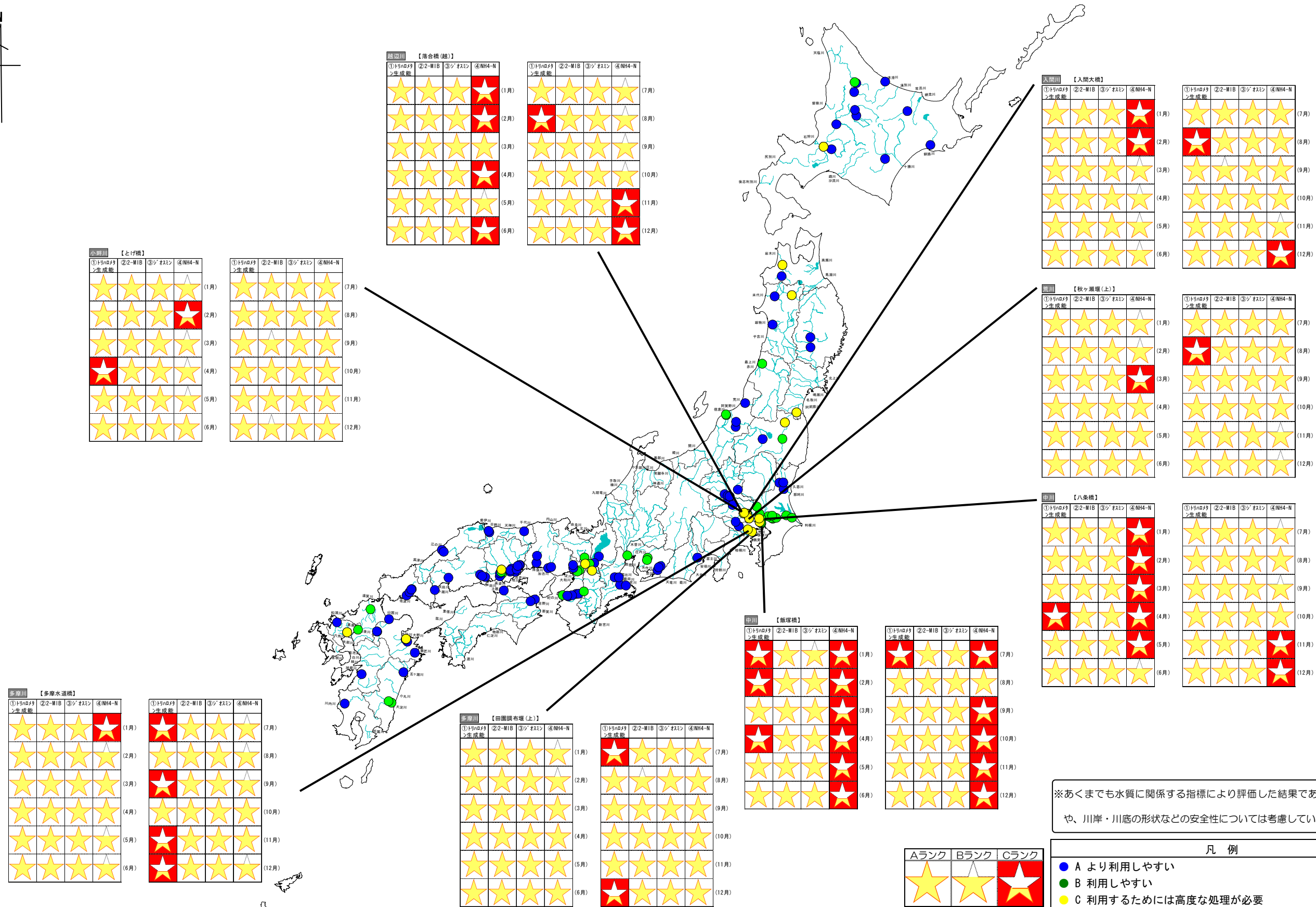
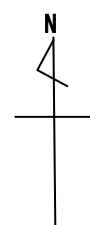


図-31(4) 平成24年「利用しやすい水質の確保」調査結果 Cランクの要因分析 (②関東地方)

④新しい水質指標（河川）（案）による全国の調査地点のAランク評価

前述の評価は、それぞれの視点について3～5つある評価項目のうち、最も低い項目別評価ランクをその地点の総合評価ランクとしたものである。

ここでは、各視点についてAランク（最も良い評価）を得た項目数を星（☆）の数で表し、調査地点を評価した結果を図-32に示す。星の数が多いものほど、各視点の項目で高い評価を得た数が多いことを示す。なお、ここでは、全測定項目を測定した調査地点をとりまとめの対象とした^{注26}。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、ゴミの量や透視度等全5項目を測定しており、全項目がAランクであると☆が5つになる。全調査地点のうち、全項目がAランクであった☆5つは約19%（33地点/177地点）であった。また、約97%の地点はいずれかの項目がAランクと評価された。

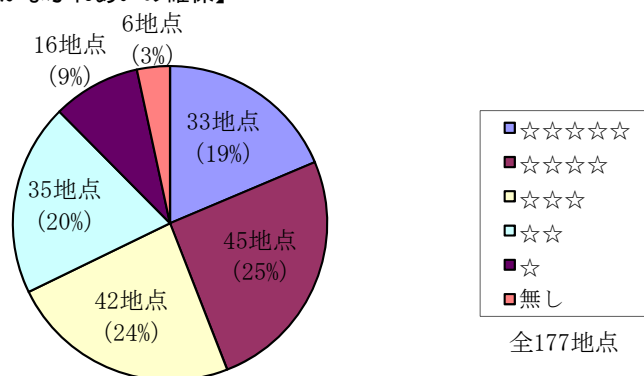
「豊かな生態系の確保」は、水生生物の生息等全3項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった☆3つの地点が最も多く約59%（103地点/175地点）であった。また、全ての地点はいずれかの項目でAランクと評価された。

「利用しやすい水質の確保」は、トリハロメタン生成能等全4項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった☆4つの地点が最も多く、約83%（121地点/146地点）であった。また、全ての地点でいずれかの項目がAランクと評価された。

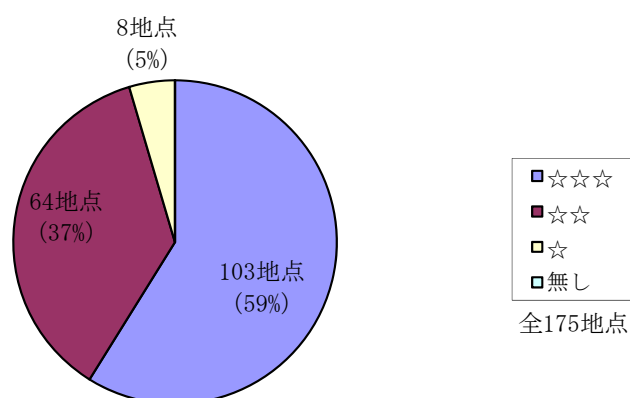
^{注26} 同一地点で年間に複数回の調査が行われた場合は、調査回ごとの評価ランク（☆の数）の最頻値を地点の年間評価とした。最頻値が2つ以上ある場合は、☆の数の少ない方を地点の年間評価とした。

全測定項目を測定した調査地点をとりまとめの対象としたことから「（2）実施水系・地点数」などに示した全地点数とは異なる。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】



【豊かな生態系の確保】



【利用しやすい水質の確保】

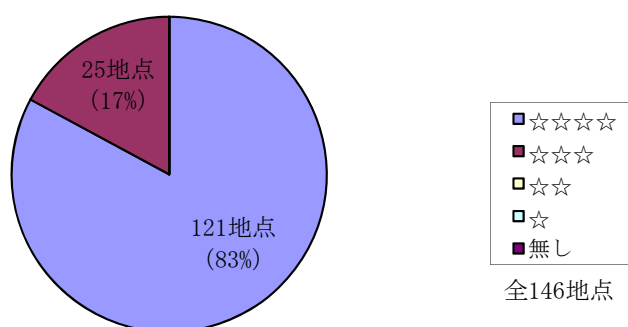


図-32 Aランクで評価された項目数を用いた調査地点とその割合

※各地点について、各視点からAランクと評価された測定項目の数を☆の数で示した。

人と河川の豊かなふれあいの確保：全5項目

豊かな生態系の確保：全3項目

利用しやすい水質の確保：全4項目

(5) 「人と河川の豊かなふれあいの確保」

①評価項目と評価レベル

「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、快適性や安全性といった、人が河川とふれあう際に、河川水質が確保すべき機能の評価するための視点である。

評価項目として、「ゴミの量」「透視度」「川底の感触」「水のにおい」「糞便性大腸菌群数」の5つが設定されており、このうち糞便性大腸菌群数以外の4項目は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-30に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も頻度の高かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-30 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の評価項目と評価レベル
(赤枠内は住民と協働調査)

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル					地域特性項目
			全国共通項目					
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のおい	糞便性 大腸菌群数 (個/100mL)	
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらない または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	100以下	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない		1000以下	
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの	
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる		

②年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-33に示す。

地方により内訳の違いが大きかったが、全国の合計では、Aランクの地点が約25%、A、Bランクの地点を合わせると約69%であった。地方ごとに見ると、関東地方を除く各地方では、AランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】

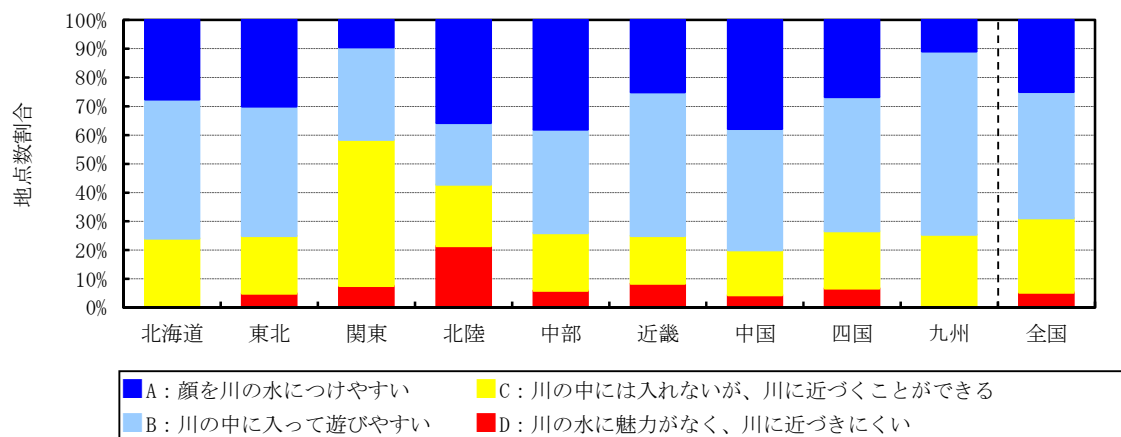


図-33 年間の総合評価ランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

③年間の評価項目評価ランク

5つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-34に示す。

Cランク以下と評価された地点の割合に着目すると、地方ごとに傾向が異なっていた。北海道地方、北陸地方、関東地方は透視度がCランクを下回る地点が多くなっている。

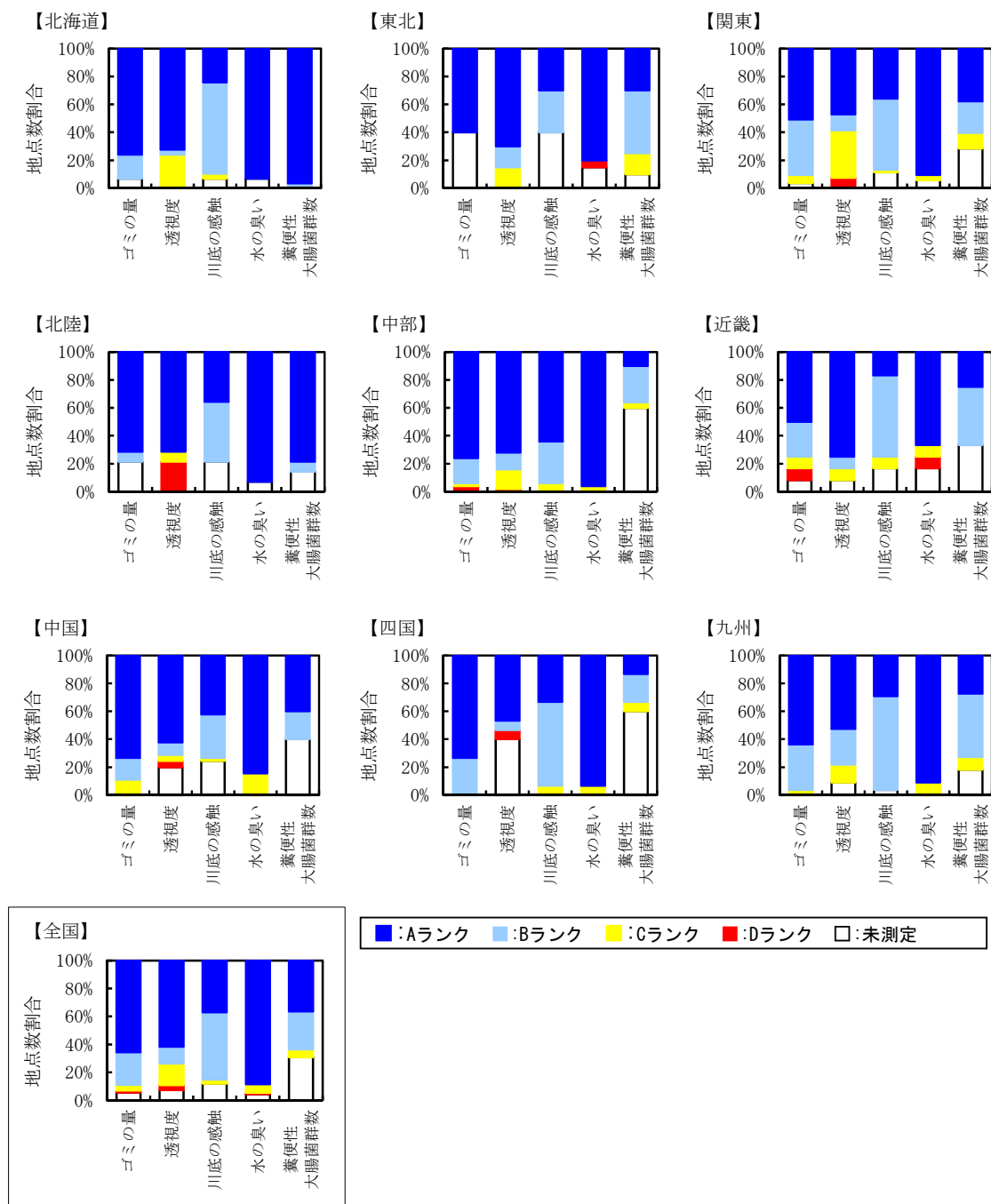


図-34 年間の評価項目のランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

(6) 「豊かな生態系の確保」

①評価項目と評価レベル

「豊かな生態系の確保」は、動植物の生息や生育、繁殖といった、河川の健全な生態系を確保する上で、河川水質が満たすべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「DO」「NH₄-N」「水生生物の生息」の3つが設定されており、このうち水生生物の生息は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-31に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も低かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-31 「豊かな生態系の確保」の評価項目と評価レベル
(赤枠内は住民と協働調査)

ランク	説明	評価項目と評価レベル			地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
		全国共通項目			
		DO(mg/L)	NH ₄ －N(mg/L)	水生生物の生息	
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等	
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等	
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等	

②年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-35に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約60%、A、Bランクの地点を合わせると約92%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。しかし、関東地方はDランクの地点の割合が約18%と他の地方に比べ大きかった。

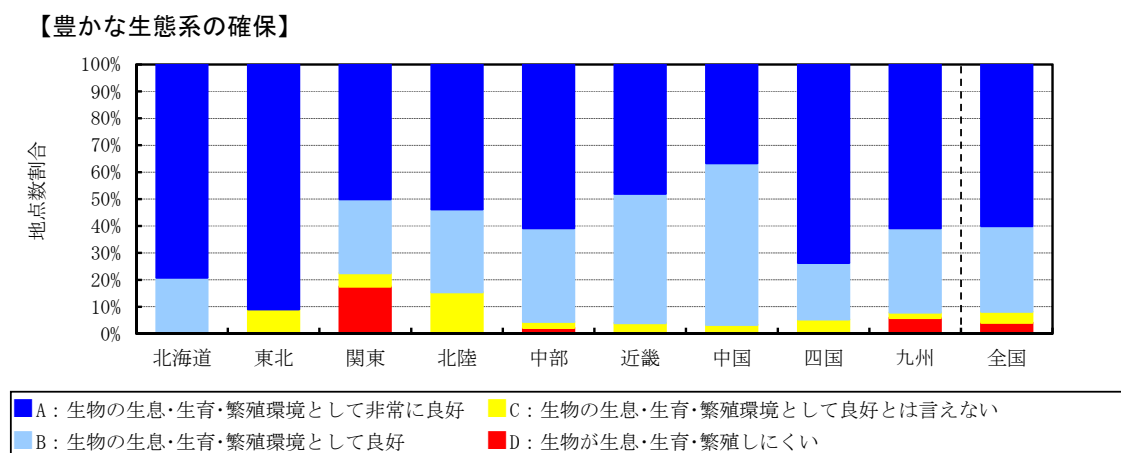


図-35 年間の総合評価ランク別割合（豊かな生態系の確保）

③年間の評価項目評価ランク

3つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-36に示す。

全国を合わせてみると、DOは測定を行った約96%の地点でAランクであった。NH₄-Nと水生生物の生息は測定を行った約90%以上の地点でBランク以上であった。地方ごとに見ると、他の地方と比較して、関東地方はNH₄-N、がDランクである地点の割合が多い。

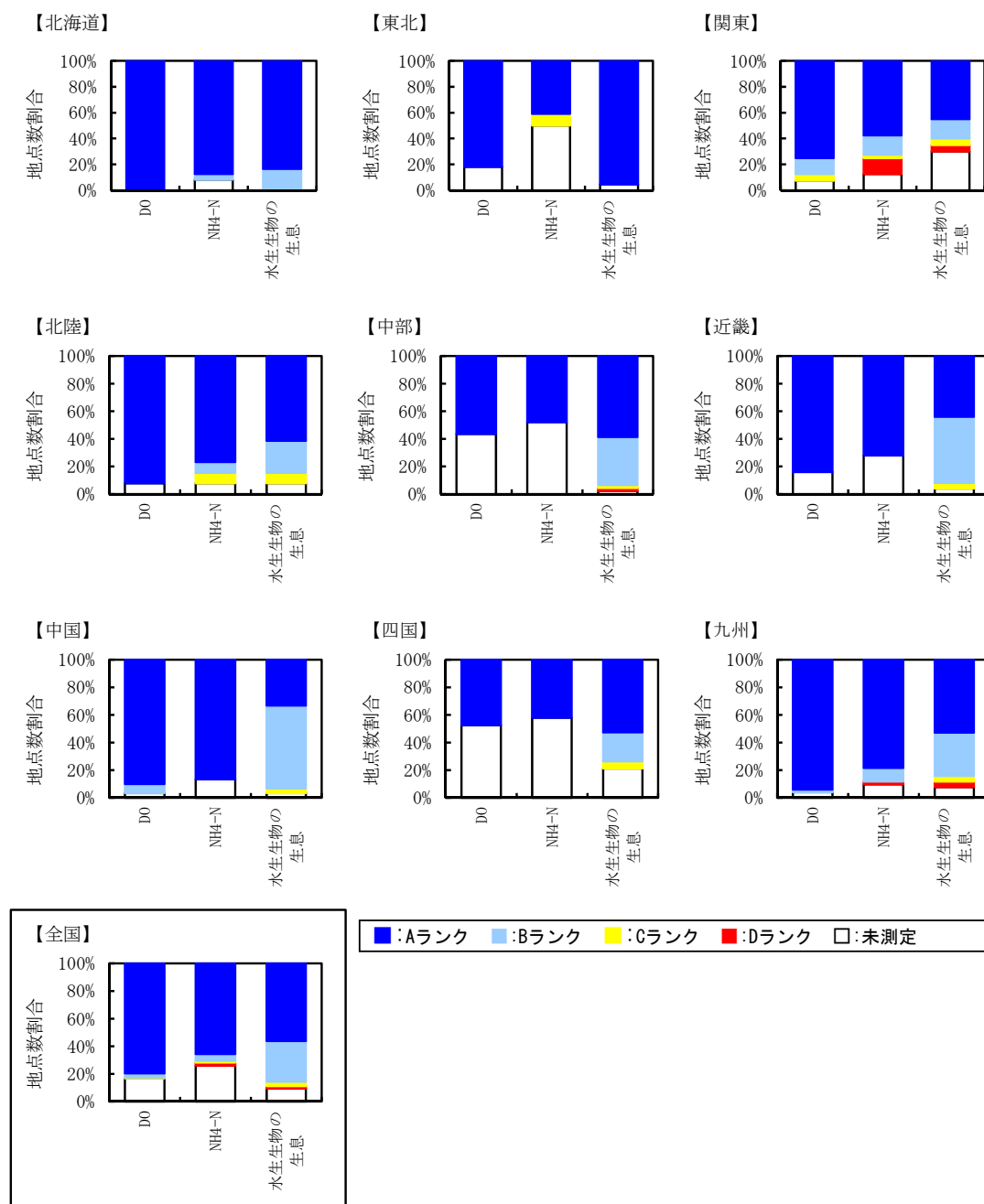


図-36 年間の評価項目のランク別割合（豊かな生態系の確保）

(7) 「利用しやすい水質の確保」

① 評価項目と評価レベル

「利用しやすい水質の確保」は、現状において特に水質的課題が顕著である「上水利用」に注目し、安全性や快適性、維持管理性（浄水処理管理）といった、河川水質が確保すべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「トリハロメタン生成能」「2-MIB」「ジオスミン」「NH₄-N」の4つが設定されている。

各評価項目の評価レベルは表-32に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて95%値に該当するランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-32 「利用しやすい水質の確保」の評価項目と評価レベル

ランク	説明	評価項目と評価レベル				
		全国共通項目				地域特性項目
		安全性	快適性		維持管理性	当該河川・地点の特性 や地域住民のニーズに 応じて独自に設定
		トリハロメタン 生成能 (μ g/L)	2-MIB (ng/L)	ジオスミン (ng/L)	NH ₄ -N (mg/L)	
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下	文献等から設定
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下	
C	利用するためには高度な 処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの	

②年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-37に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約62%、A、Bランクの地点を合わせると約87%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

しかし、東北地方、関東地方ではCランクの地点の割合が他の地方に比べ大きかった。

【利用しやすい水質の確保】

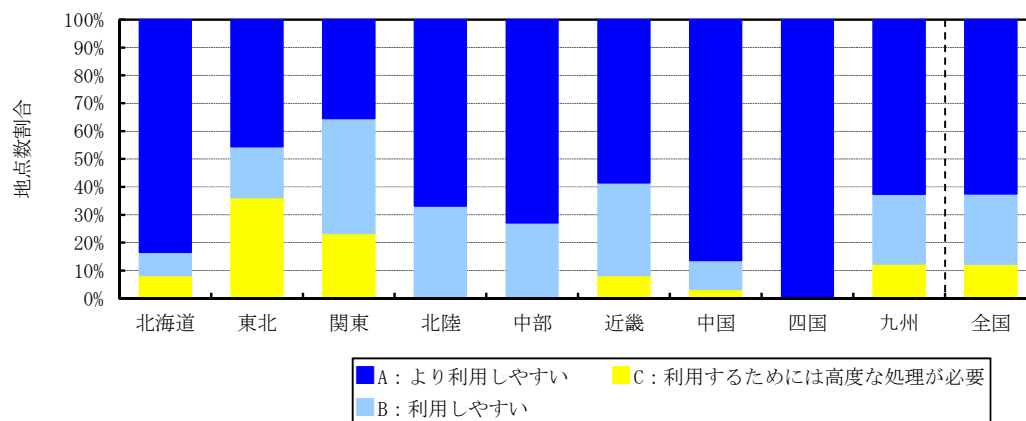


図-37 年間の総合評価ランク別割合（利用しやすい水質の確保）

③年間の評価項目評価ランク

4つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-38に示す。

全国を合わせてみると、トリハロメタン生成能は約96%、2-MIBは約92%、ジオスミンは98%、NH₄-Nは約70%の地点でAランクであった。地方ごとに見ると、東北地方はNH₄-NがCランクである地点の割合が多かった。

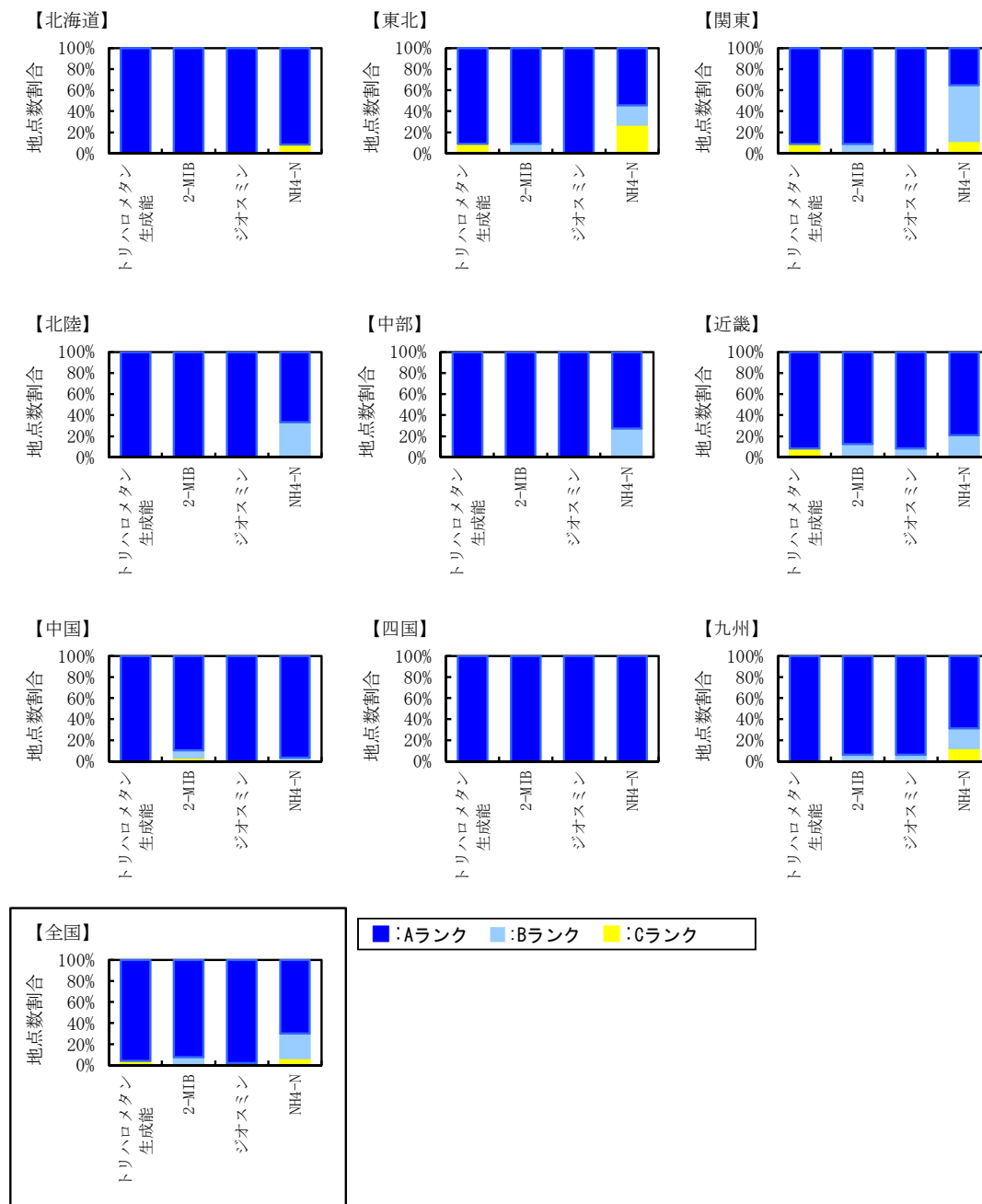


図-38 年間の評価項目のランク別割合（利用しやすい水質の確保）

(8)「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」

①指標項目

「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」は、河川の下流域、特に閉鎖性水域などの滞留水域の富栄養化を意識した水質管理を行う視点で設定されており、富栄養化状態を直接的に表す「T-N」「T-P」を指標項目として設定している。

なお、一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では、下流域へ影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目、評価ランク及び評価レベルは定めず、今後の課題としている。

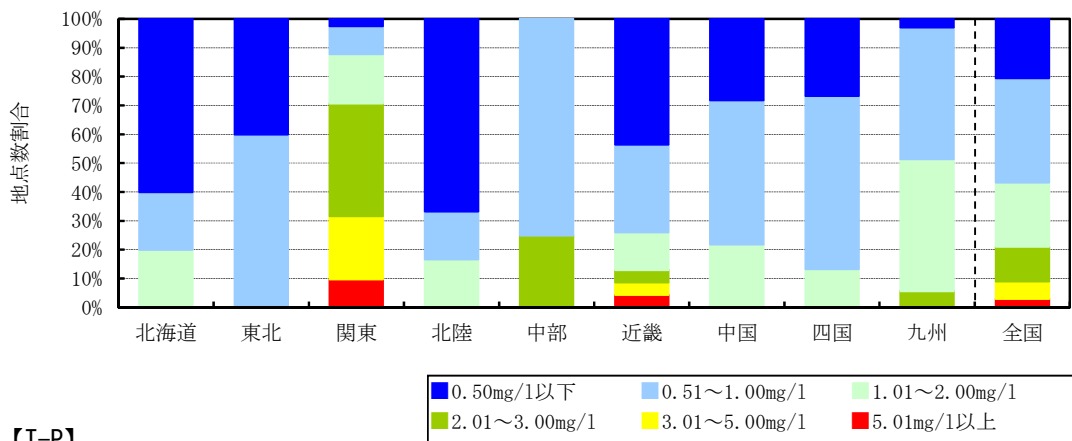
②年間の地点平均値の濃度範囲

地点のT-N、T-P年平均値について、全地点数に占める各濃度範囲の地点数の割合を図-39に示す。

T-Nは、全国を合わせてみると、約57%の地点が年平均値1mg/l以下であった。地方ごとに見ると、関東地方、九州地方以外の地方では1mg/l以下の地点が過半数を占めていた。逆に関東では、1mg/l以下の地点は約12%であり、約32%の地点が3mg/lを超えていた。

T-Pは、全国を合わせてみると、約46%の地点が年平均値0.05mg/l以下であった。地方ごとに見ると、関東地方、中部地方、九州地方を除く地方では0.05mg/l以下の地点が過半数を占めていた。

【T-N】



【T-P】

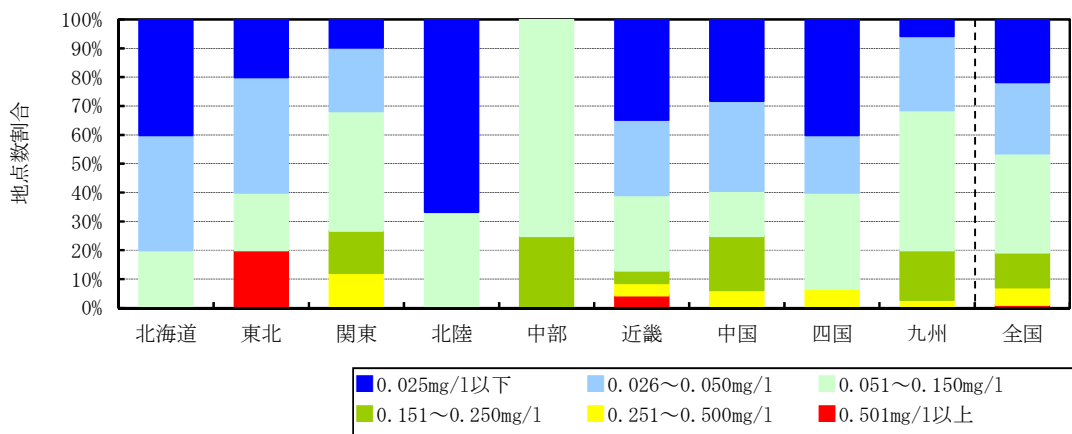


図-39 年間の地点平均値の濃度範囲別割合

(下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保)

※新しい水質指標の調査として測定された調査データのみを対象